

大正十一年五月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

滋賀 多喜雄 長崎 依田 收一 長野

大正十一年十月學士試驗合格(工學物理學專修)

奧田 克巳 廣島

大正十二年三月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

伊藤 成一 山口 石村 繁春 大阪 新田 甚吾 石川
片山 活三 大阪 田崎 俊雄 長崎 村山 益敏 佐賀
追田 利光 鹿兒島 進藤 武左衛門 山梨 平川 茂登 福岡
後藤 文雄 大分

大正十二年三月學士試驗合格(工學物理學專修)

橫倉 廉吉 石川 本宿 哲郎 東京

大正十二年六月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

春名 由巳 兵庫

大正十三年三月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

橋本 基孝 大分 西 泰 藏 鹿兒島 梶原 勤三郎 福岡
仲村 常雄 福岡 野田 健三郎 東京 野村 正俊 東京
中川 浩一 福岡
黑岩 和五郎 福岡

小林 孝介 大阪 北村 茂二 石川 城島 甫 福岡 杉山 良祐 福岡

大正十三年三月學士試驗合格(製作電氣工學專修)

山本 利三郎 大阪

大正十四年一月學士試驗合格(工學物理學專修)

關口 澄兵衛

大正十四年三月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

堀 齋 新潟 戸田 到 福岡 大神 才右衛門 福岡 若崎 道康 富山
小山 隆 佐賀 川喜 多昇治 東京 神武 憲彦 福岡 金子 四郎 山口
野田 武一 大分 矢野 稔 愛媛 山口 安信 佐賀 深井 基邦 富山
泉 半次郎 福岡 杉山 榮一 青森

大正十四年三月學士試驗合格(製作電氣工學專修)

井上 八郎 右衛門 福岡 岡部 養彦 福岡 伏貫 鹿雄 福岡 豐田 喜一 富山

大正十四年三月學士試驗合格(工學物理學專修)

八濱 康和 岡山 森 光三 大分

大正十四年十一月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

武田益祐 愛媛 森 莊三郎 香川

大正十五年二月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

小野 孟彦 大分

大正十五年三月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

石橋 靜雄 福岡 間 功兵庫 大久保一敏 長崎

藤田 清佐 賀 藤本 保山口 赤木久米男 岡山

宮崎喜左右衛門 熊本 篠原 卯吉 愛知 筋師 正和 歌山

大正十五年三月學士試驗合格(製作電氣工學專修)

谷崎 義一 福岡 三池 信佐 賀 三笠 猛 福岡

執行 永耶 佐 賀 水間 爲信 福岡

大正十五年三月學士試驗合格(通信電氣工學專修)

萩原 博 福岡

大正十五年六月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

周防里海 福岡

大正十五年七月學士試驗合格(通信電氣工學專修)

山賀 孝造 山口

大正十五年十一月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

濱砂 兵吉 宮崎

本山虎三郎 長崎

昭和二年三月學士試驗合格(原動及電力工學專修)

井上 庸尼 島根 坂内 文治 熊本 大島 光義 兵庫 川畑 清藏 鹿兒島

渡邊 藤治 大分 眞武 秀雄 福岡 小菰 直 福岡 坂田 傳二郎 福岡

木村 登 佐 賀 岸川 慎吾 佐 賀 森山 正雄 島根 杉 牧 夫 岡山

昭和二年三月學士試驗合格(製作電氣工學專修)

譽田 敏雄 福岡 加藤 龍造 島根 中村 靜雄 福岡 朝井 元貞 廣島

白水 常雄 福岡

昭和二年三月學士試驗合格(通信電氣工學專修)

石橋 太郎 福岡

昭和二年三月學士試驗合格(工學物理學專修)

尾崎 猛 高知 遠藤 誠一 福岡 竹本 壽 東京 辻本 進 和歌山

昭和二年十一月學士試驗合格(製作電氣工學)

○卒業生姓名 工學士

妻鹿爲之兵庫

昭和二年十二月學士試驗合格(原動及電力工學)

上田武彦兵庫

昭和三年三月學士試驗合格(原動及電力工學)

石橋英樹福岡

橋本武福岡

鳥井惟喜熊本

小野富士雄福岡

金川準福岡

柿添隆熊本

大塚眞夫福岡

長友泰壽鹿兒島

隈元正義鹿兒島

久布白兼致佐賀

竹田京香川

高次雄福岡

荒瀬寛正福岡

溝口研悟佐賀

山田泰藏福岡

昭和三年三月學士試驗合格(製作電氣工學)

柏村寛山口

鹽川新助兵庫

守田正山口

昭和三年三月學士試驗合格(通信電氣工學)

中村香苗熊本

森延光福岡

昭和三年三月學士試驗合格(工學物理學)

中筋新太郎京都

鄭愈支那

造船學科

大正十三年三月學士試驗合格(造船學第一部專修)

×飯盛常武佐賀

大正十三年三月學士試驗合格(造船學第二部專修)

岩崎正英東京

河野豊一鹿兒島

蒲池司郎長崎

阿部修三栃木

坂田昌一福岡

大正十四年三月學士試驗合格(造船學專修)

大谷滋之助茨城

勝目實臣鹿兒島

米山修一愛知

中西忠一京都

中村英夫香川

藤家萬吾長崎

大正十五年三月學士試驗合格(造船學專修)

原田親福岡

西島亮二岡山

豊福清民福岡

田中喜門福岡

田中幸雄大阪

武富猪一佐賀

二瓦豊福岡

有馬彬甫鹿兒島

佐藤博佐賀

持田慶助福岡

大正十五年五月學士試驗合格(造船學專修)

須藤英雄神奈川

昭和二年三月學士試驗合格(造船學專修)

○卒業生姓名 工學士

池田 初次長崎 川良 武次佐賀 高木 寛福岡 竹末 靖彦福岡

昭和三年三月學士試驗合格(造船學專修)

野守 隼人福岡 大園 大輔佐賀 島田 謙三東京 落合 清鹿兒島 米澤 忠雄長崎

應用化學科

大正三年七月卒業

井上 哲夫廣島 大平 正夫熊本 松田 資滿治德島 鈴木 不二男岐阜
長島 貞秋佐賀 占部 泰明福岡 大岩 肇愛知 波邊 幸吉福岡
岩瀬 德三郎千葉 尾平 惣藏福島 坪井 三郎東京 中森 延一廣島
×川口 亮東京 多田 美一和歌山 福永 勉廣島 森山 登福岡
南種 康博熊本 八木 猷助福岡

大正四年七月卒業

渡邊 陸太郎福岡 柿原 清二埼玉 片平 憲治郎宮城 高橋 昇福岡
熊谷 直記宮城 久能 寅夫山口 山領 季雄佐賀 深水 壽熊本
城島 徳市佐賀 森本 貫一熊本

大正四年十二月卒業

大場 默之助福岡

大正五年五月卒業

×柳原 英一郎岐阜

大正五年七月卒業

石川 盛大愛知 二階堂 行徳福岡 富谷 直宮城 張 玄彦佐賀
大立 目四郎宮城 田村 稔福岡 田代 萬造福岡 中村 靜大分
宗像 秀雄熊本 栗山 捨三和歌山 三宅 三郎岡山 白石 國太郎福岡
平岡 泰太郎石川

大正五年十二月卒業

野口 秀紀埼玉

大正六年七月卒業

石川 義一富山 西澤 恭助東京 大山 與一郎福岡 奥野 俊郎長崎
河東 濟愛媛 中山 康佐賀 中島 文雄島根 山本 永之助福岡
藪田 正典大分 前田 靜雄愛知 秋田 穰三重 佐久間 巖千葉
下長 暢東京 久水 六郎青森

大正六年九月卒業

田島 慶一三重

○卒業生姓名 工學士

大正七年七月卒業

原 源六 福岡
 ×鎌田嘉次郎 大分
 前田 勤 石川
 木野 桂次 東京
 (元野) 正 福岡
 國吉 喜一 山口
 荒川 正太郎 廣島
 長田 恒四郎 愛知
 中村 能一 福岡
 木村 忠雄 長野
 和田 正雄 福岡
 山内 聰 福岡
 山下 榮 福岡

大正八年一月修業

栗田藤四郎 熊本

大正八年七月卒業

馬場 榮夫 東京
 岡山 義雄 福岡
 田邊 友次郎 島根
 服部 勘一 山口
 米田 種一 兵庫
 田坂 吉二郎 東京
 大坪 德藏 鹿兒島
 吉利 透 鹿兒島
 大森 三郎 岡山
 高田 政吉 福岡
 村上 修三 福岡

大正八年八月修業

崎崎 太平 福岡

大正九年五月學士試驗合格

五百藏 熊太郎 北海道

大正九年七月卒業

花田 幸吉 福岡
 上林 壽太郎 岡山
 小柳 勝藏 長野
 原田 梧樓 福岡
 吉村 倫之助 福岡
 庄野 唯衛 德島
 白石 亞細亞丸 高知
 德根 吉郎 北海道
 黒田 一郎 東京
 友杉 幸次郎 福岡
 松本 七郎 福岡

大正九年七月修業

落合 兼文 山口 遺佐々木 憲一 廣島

大正九年九月學士試驗合格

大坪 昌治 福岡

大正十年三月學士試驗合格

石井 直彦 佐賀
 高松 亭福 岡
 木下 龍夫 長野
 岩尾 久光 愛媛
 中村 哲男 福岡
 宮川 一郎 東京
 渡邊 綱雄 北海道
 福澤 勘一 長野
 醉月 謙二 兵庫
 吉田 久七 福岡
 遠藤 永次郎 福岡

大正十年四月學士試驗合格

日比野 定成 岐阜

大正十一年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

○卒業生姓名 工學士

秦 誠之 福岡 栗村 健象 鳥取 坂本 美夫 兵庫

大正十一年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

沼尻 清一 東京 大杉 友七 滋賀 大塚 登 大分 柿元 義秀 鹿兒島

高井 正二 福井 向井 參之充 佐賀 松山 文二 宮崎 松本 秀 千葉

齊藤 浩三 福島 別府 良三 三重

大正十一年四月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

石井 市重郎 福島

大正十一年四月卒業(舊規程ニ依ル者)

土谷 金之輔 東京

大正十一年六月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

今田 房雄 福井 太田 忠恕 兵庫

大正十二年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

池田 忠義 鳥根 松尾 後市 長崎

大正十二年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

伊東 三郎 福岡 石田 一 福岡 井坂 桂一良 北海道 林 盛四郎 山口

加藤 常太郎 大阪 武藤 文輔 福岡 黒川 秀孝 熊本 有馬 芳彦 鹿兒島
船久保 英一 宮城 福山 榮 福岡 黃 開 繩 支那

大正十二年五月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

朱 經 古 支那

大正十二年五月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

中島 米治郎 佐賀

大正十二年十月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

廣谷 種次 大阪

大正十二年十月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

新井 蓮太郎 群馬 大爺 武夫 岡山

大正十三年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

原田 珍重 北海道 岡井 弘 岡山 田崎 吉秀 熊本 由布 俊一 福岡

池山 汎 愛媛

大正十三年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

張 愷 支那 奥野 智行 富山 綿谷 啓太郎 石川 竹島 銀一 東京

野 良哲 福岡 矢毛石榮造 熊本 有吉達實 福岡

大正十三年三月學士試驗合格(電氣化學專修)

新井洋吉 兵庫

大正十三年四月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

松永誠吾 佐賀

大正十三年五月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

齋藤謙介 福岡

大正十三年七月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

川井眞三郎 大阪

大正十四年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

西見幸生 福岡

河原秀男 福岡

淺野忠 新潟

鹽田篤 山口

島田九郎 大阪

大正十四年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

富安彌之助 福岡

大村恕生 福岡

渡邊碩三 大分

中島仁右衛門 大分

長谷信之 石川 柳川鐵之助 福岡 山本利夫 大阪

大正十四年三月學士試驗合格(電氣化學專修)

若林唯四郎 富山

大正十五年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

西脇寬 東京

西村龍介 山口

細井潤三 三重

張基全 臺灣

大正十五年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

原田虎七 山口

別府次郎 福岡

山崎品造 兵庫

朱 驥支 那

廣田虎雄 廣島

昭和二年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

原 達男 大分

渡邊幸三郎 山口

秋吉致 福岡

秋洲敏次郎 愛媛

木村勳 福岡

昭和二年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

都甲卯作 宮崎

形山平三郎 東京

田代豐 福岡

曾廣 蜀支那

松本松之助 大阪

渡邊伊三郎 岡山

鮫島恰 鹿兒島

○卒業生姓名 工學士

昭和二年六月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

關 勇 東京

昭和二年六月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

謝 傑 支那

昭和二年七月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

本田 不二 東京

昭和三年三月學士試驗合格(應用化學第一部專修)

伊藤 文一 山口

昭和三年三月學士試驗合格(應用化學第二部專修)

和田 伯士 福岡

昭和三年三月學士試驗合格(電氣化學)

原田 種樹 福岡

昭和三年五月學士試驗合格(應用化學第二部)

松浦 進 宮崎

豊留 利雄 宮崎 溝口 政雄 福岡

採礦學科

大正三年七月卒業

小田 二三男 福岡

久留島 秀三郎 京都

安河内 直 福岡

大正四年七月卒業

西川 正之助 福岡

川浪 守三郎 福岡

高階 宗三郎 千葉

坪内 正吉 福岡

山中 保 宮城

山川 良一 佐賀

古川 潔 三重

今野 原郎 宮城

高階 宗三郎 千葉

×中垣 實 福岡

大正五年七月卒業

橋本 萬大分

神島 満足 大分

何 肇 中支那

吉武 清海 山口

柳沼 善介 福岡

荒木 利恭 熊本

佐藤 與助 福岡

菅野 健三郎 東京

○卒業生姓名 工學士

大正五年七月修業

選科河野 卓一 岡山

大正六年七月卒業

×市川 鏡一 愛知 西田 錄 岐阜

中間 敏夫 福岡 久保村 鈞介 三重

小池 定雄 千葉 古賀 健太 福岡

吉川 庄兵衛 山口 古賀 金治 長崎

選科毛利 大枝 鹿兒島 高木 俊之助 熊本

選科石橋 徹 福島

高畑 信三郎 京都

伊幸田 義人 熊本 西村 信一 長崎

土岐 増太郎 福岡

大屋 輔佐久 石川

金井 武治 兵庫

山本 福三郎 福岡

古賀 金治 長崎

立花 範治 福岡

前島 吳一 長野

向野 義夫 福岡

大正六年十二月卒業

大正七年七月卒業

×兼谷 善二 山口 四方田 貞島 根

黒梅 金次郎 石川 山田 義勇 熊本

兒玉 八郎 山口 宮川 敬三 福井

選科渡邊 官平 大分

妹尾 太郎 山口

大正七年九月卒業

大正七年十二月卒業

伊東 民治 大分

大正八年七月卒業

市川 信吾 鹿兒島 犬伏 林十郎 徳島

高橋 秀信 茨城 六鹿 傳治郎 愛知

小松 哲精 滋賀 安達 新太郎 東京

北島 守衛門 宮崎 新藤 修二郎 石川

田村 豊 千葉

山田 眞平 静岡

裏地 正生 和歌山

山本 恵祐 長崎

堀 鶴雄 熊本

前田 孝矩 石川

安藤 五郎 茨城

陶山 勇 福岡

徳永 三藏 福岡

藤田 義明 富山

佐藤 松之丞 岩手

選科判 治徳三郎 愛知

大正九年七月學士試験合格

稻葉治郎左衛門 新潟 友清 一郎 福岡 奥川 辰三 東京
山崎 駒雄 佐賀 篠崎 彦二 熊本 自在丸新十郎 大分

川浪久米三郎 福岡

大正九年七月修業

選科井ノ口 理 福岡 選科光 永末五郎 熊本

大正十年三月學士試験合格

伊東 重道 福岡 蓮尾 秀 福岡 小川 九七郎 北海道 岡村 昇 山口
岡村 乾 熊本 高松 博 熊本 田中 耕三 東京 田中 廉 福岡
山下 泰三 鹿兒島 明永 卯之吉 福岡 佐藤 英夫 京都 宮良 英美 鹿兒島
森山 正英 福岡 清水 英 長野

大正十年三月修業

選科坂口 五郎 福岡

大正十年七月學士試験合格

中村 小四郎 福岡

大正十一年三月學士試験合格(探礦學第二部專修)

石井 傳弘 佐賀 花野 可勞 福岡 原田 尊 福岡 田中 太郎 岡山
村田 義夫 山口 牛尾 廣惠 福岡 黒瀬 達也 福岡 山田 穰 愛媛
土田 登喜男 石川

大正十二年十二月學士試験合格(探礦學第二部專修)

×岡村 俊雄 福岡

大正十三年三月學士試験合格(探礦學第二部專修)

小島 秀生 福岡 中山 弘 長崎

大正十三年三月學士試験合格(探礦學第三部專修)

榎本 隆一郎 和歌山

大正十四年三月學士試験合格(探礦學第二部專修)

中野 勳 福岡

大正十四年三月學士試験合格(探礦學第三部專修)

加藤 和幸 福岡 吉田 浩象 福岡 金 大羽 朝鮮

○卒業生姓名 工學士

大正十五年三月學士試驗合格(探鑛學第二部專修)

早原剛太郎 福岡 大平 義光 福岡 加藤 太志 福岡 中宮 英雄 福岡

大正十五年三月學士試驗合格(探鑛學第三部專修)

石松 正 鐵 福岡

昭和二年三月學士試驗合格(探鑛學第二部專修)

片岡 良太郎 福井 中村 増次 岡山 郡 新 吾 支那

昭和二年三月學士試驗合格(探鑛學第三部專修)

楊 德 壘 支那

昭和三年三月學士試驗合格(探鑛學第一部)

安永 新三郎 兵庫

昭和三年三月學士試驗合格(探鑛學第二部)

神崎 三郎 福岡 土井 増一 佐賀

昭和三年三月學士試驗合格(探鑛學第三部)

飯島 爲一 兵庫

冶金學科

大正三年七月卒業

濱生 陸一 福岡 風岡 英次 靜岡 菊地 留治 耶 宮城 進藤 淳之祐 愛媛

大正三年十二月卒業

北村 廣三郎 福岡

大正四年七月卒業

井村 竹市 福岡 石川 金三郎 栃木 市來 雄三 東京 石垣 清 埼玉

高岡 弘道 島根 赤川 正三 山口

大正五年七月卒業

保々 隆基 熊本 片山 國孝 靜岡 神谷 三代一 長野 高橋 昇 新潟

信原 龍夫 岡山 蟻川 一 東京 佐々木 新太郎 京都 湯川 龍兵 兵庫

大正六年七月卒業

井上 光行 兵庫 尾形 正嘉 愛知 勝木 治 耶 兵庫 高橋 彌吉 靜岡

大正六年七月修業

高橋 文太郎 千葉 阿多 實雄 鹿兒島

柴田 正雄 兵庫

大正七年七月卒業

井門 文三 熊本
仲居 源治 兵庫
佐藤 恒義 香川

谷山 巖 鹿兒島
宇都宮 鐵一 鹿兒島
廣瀬 次彦 大分

橋 公監 鹿兒島
藤井 三郎 佐賀
角野 尙德 鹿兒島

高橋 説次郎 廣島
小林 勇 新潟

大正七年七月修業

戸村 末吉 栃木

成 支那

大正八年七月卒業

生田 千治郎 兵庫
大鷹 祥之 埼玉
福井 眞廣 島

石垣 良治 愛知
加藤 三松 富山
荒木 彬 栃木

本多 顯曜 愛知
安田 勇治 長崎
宮崎 正人 山口

豊原 彰 東京
丸山 五男 長野

大正八年七月修業

新山 幸雄 三重

大正八年十二月學士試驗合格

室岡 政太郎 青森

大正九年七月學士試驗合格

×横山 一男 福井
山下 森太郎 長崎
×荒井 勝太郎 愛媛

高岡 平吾 佐賀
安本 銀三 福岡
澤邊 赫 東京

竹田 周介 山口
小川 義雄 山口
岸本 甲午 岡山

浦田 彦太郎 三重
小平 勇 青森
篠原 槻雄 熊本

大正九年七月修業

荒井 松之助 愛媛

水野 福三 福岡

大正十年二月學士試驗合格

里村 伸二 福岡

大正十年三月學士試驗合格

大田 好江 山口
永山 德茂 鹿兒島
松塚 清人 熊本
青柳 辰彦 福岡

河崎 文珠 大岡山
村上 照造 奈良
藤田 守太郎 愛知
菖蒲 公義 佐賀

園田 一夫 福岡
中馬 信行 兵庫
森 正門 岡山

中野 樂六 福岡
栗田 滿義 福岡
江崎 善之 福岡

大正十年五月學士試驗合格

淺川 隆作 神奈川

大正十一年三月學士試驗合格(冶金學專修)

○卒業生姓名 工學士

渡邊 誠 東京 脇島信太郎 愛媛 中野益利 福岡 山崎篤興 愛媛
藤谷正昭 東京 松永陽之助 香川 酒井末次 福岡

大正十一年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

岩崎 義家 宮崎 吉永清助 福岡 河內 通福岡 坪井秋朔 岐阜
小西貫一 大分 日高 覺 宮崎

大正十一年十月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

竹內泰一 和歌山

大正十二年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

×村 恒之助 石川 吉弘良夫 福岡 中原 英 熊本 中村亮三 香川

大正十二年三月學士試驗合格(冶金學專修)

吉川 政俊 福岡

大正十三年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

川端 駿吾 京都 奥野重雄 兵庫 的場幸雄 三重

大正十三年十月學士試驗合格(冶金學專修)

荳川 浩治 長崎

大正十四年三月學士試驗合格(冶金學專修)

大山 高良 鹿兒島 玉井周一 山口

大正十四年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

大平 一 郎 鹿兒島 藤井 保 福岡

大正十五年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

馬 松島 東京

昭和二年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

島村 哲夫 熊本

昭和三年三月學士試驗合格(冶金學專修)

大林 繁生 山口

昭和三年三月學士試驗合格(鐵冶金學專修)

帆足有志夫 熊本 前田 三郎 石川 何 維 華 支 那

農學士

農學科

大正十三年三月學士試驗合格

眞鍋利市 福岡 安田貞雄 兵庫 宮崎勝雄 熊本

大正十三年三月修業

選松山 正司 和歌山

大正十四年三月學士試驗合格

柏木小五郎 福岡 高坂知武 山形 中田太郎 長野 木暮楨太 群馬

小林伊三郎 秋田 佐藤健吉 秋田

大正十四年七月學士試驗合格

桂應 詳 朝鮮

大正十五年三月學士試驗合格

井浦康次郎 福岡 谷村俊助 兵庫 中村三八夫 山口 増田與平 富山

小坂久吉 宮崎

昭和二年三月學士試驗合格

伊藤俊一郎 新潟 西信孝 鹿兒島 彭先澤 支那 丁主一 宮崎
大前恒二 德島 夏振鐸 支那 武內晴好 愛媛 高橋良男 大分
鶴田正造 福岡 黑岩秀雄 鹿兒島 鄭相浩 朝鮮 篠崎六郎 愛媛
廣瀬恒久 熊本

昭和三年三月學士試驗合格

橋本春雄 群馬 蜂巢統三 群馬 星島復五郎 岡山 豊村成一 長崎
尾崎貞徳 鳥取 若森直喜 東京 川上米男 鹿兒島 加納孝義 東京
川上次郎 廣島 谷山信行 鹿兒島 中島三郎 福岡 瓜生和夫 福岡
窪田一夫 岡山 楊邦傑 支那 榎殿秀水 山口 江島鐵雄 山口
有村國秀 神奈川 宮本邦彦 長野 島崎弘 福岡 平田信行 福岡
鈴木勇 東京 杉森納 福岡

昭和三年五月學士試驗合格

横山壯介 鹿兒島

農藝化學科

大正十四年三月學士試驗合格

岩田久敬 鳥根 林茂樹 鹿兒島 趙伯顯 朝鮮 大島義彦 福岡

○卒業生姓名 農學士

藤井香松 山口 江畑健造 滋賀 白坂三治 鹿兒島

大正十四年四月學士試驗合格

柴田主一 兵庫

大正十五年三月學士試驗合格

一瀬義文 長崎 馬場勝 大阪 富安行雄 福岡

高杉友三 富山 中島茂 群馬 中田孝次 三重

佐々木周都 兵庫 末次重一 福岡 太田正 福岡

大正十五年六月學士試驗合格

原延雄 和歌山

昭和二年三月學士試驗合格

岩尾清兵衛 福岡 石原誠也 岐阜 石橋一 福岡

西山祥二 愛知 陳世 支那 王愷 支那

武田貞三 大阪 中島秀演 佐賀 秋本信吉 鳥取

宮岡文藏 鹿兒島 宮崎格二 佐賀 元村純二 長崎

昭和三年三月學士試驗合格

泉清宮崎 石田正稔 山口 幡鎌芳三 靜岡 西川忠彦 長崎

花田虎太 福岡 加藤清時 長崎 北島良輔 佐賀 關泰平 新潟

西野敦石川	李家業支那	釜瀬正喜 福岡	米滿正美 佐賀
谷村豊福岡	竹内鐵二 鳥取	花田成美 福岡	直木茂兵 庫
草光恭島根	矢木博鳥取	牧哲夫 福岡	前田太七 滋賀
吳家振支那	小林嵩佐賀	鮫島宗熊 鹿兒島	佐藤正雄 新潟
水上新右衛門 福岡			

林學科

大正十四年三月學士試驗合格

重松義則 愛媛 柴山榮大分 森川均一 三重

大正十五年三月學士試驗合格

原田盛重 福岡 和田常次郎 岐阜 津田恂 福井

鈴木菊義 山口 大正十五年十月學士試驗合格 平田滿穗 三重

熊谷才藏 福岡 昭和二年三月學士試驗合格

今井庄五郎 三重 栗蔚岐支那 栗耀岐支那

綿谷誠一 山口 金田純四郎 大阪 兼次忠藏 沖繩 若宮敬次郎 富山 野崎薰 福島

昭和三年三月學士試驗合格

小寺 駿吉	岐阜	荒川 潔	宮崎	坂本 勇	和歌山	森 太郎	滋賀
飯塚 昌	長野	花房 廉士	岡山	西牧 巧	長野	大野 俊一	岐阜
小野 亨	大分	渡邊 治人	大分	高橋 勝郎	岩手	鉤 俊一	滋賀
松本 由友	島根	小早川 進	和歌山	池田 清次郎	秋田	下山 丈志	岡山

法文學部

法學士

昭和三年三月學士試驗合格

青山 實	愛知	赤井 定一	和歌山	秋保 一	耶宮城	蘭 作司	佐賀
荒牧 辰男	福岡	有吉 啓介	福岡	飯田 秋雄	岡山	池田 寬一	福岡
石橋 豊徳	福岡	磯崎 俊次	大分	因幡 健造	福岡	今泉 義雄	佐賀
岩本 健三郎	和歌山	上野 武雄	福岡	上野 直	熊本	江口 薫	佐賀
復本 了教	和歌山	大串 喜策	山口	大野 和精	福岡	數田 猛雄	廣島
加茂 長治郎	福岡	木村 忍	埼玉	木村 喬	熊本	岸田 幸之	福岡
北島 芳之	佐賀	北御門 源治	佐賀	細川 清	京都	工藤 重之	熊本
久志 助賢	東京	草場 勇	大分	久留島 徹	香川	黒田 悦二	熊本

○卒業生姓名 法學士 文學士 經濟學士

日下部 成助	京都	具島 登三郎	福岡	桑野 四郎	福岡	小金丸 政雄	長崎
後藤 重壽	大分	近藤 卯太郎	佐賀	是木 龍雄	福岡	佐藤 基	鹿兒島
坂本 哲	兵庫	崎村 太一	宮崎	猿渡 松一	福岡	清水 平吉	山形
清水 寛二	福岡	柴田 敏夫	山口	島崎 静馬	福岡	白水 博愛	福岡
品川 登兵衛	兵庫	澁川 辰穂	廣島	鹽田 實	栃木	新 龍夫	福岡
進藤 三郎	福岡	首藤 謙	福岡	須之内 徳晴	愛媛	薛 祀	光 中華民國
瀧川 欽哉	大阪	武市 春男	高知	只松 鐵雄	福岡	立川 巖	東京
千葉 省三	福岡	寺田 八之祐	大阪	徳永 與一	福岡	徳見 建雄	長崎
富永 忠雄	佐賀	富田 喜文	徳島	中村 作二	京都	中野 豊一	岡山
中川 太喜藏	熊本	中野 寛	愛知	中山 茂	山口	二木 靖	京都
西岡 滿洲夫	熊本	西村 忠一	東京	野口 湊	福岡	野瀬 茂	福岡
橋本 規	兵庫	濱田 實郎	鹿兒島	濱 正	福岡	原田 玉治	山口
繁澤 重	千葉	平山 威	福岡	東 淳	福岡	福島 喜一	徳島
藤重 悦造	山口	藤繩 啓太郎	富山	堀内 仁	福岡	牧 泰	長崎
横田 猷太郎	鳥取	松尾 長雄	京都	松島 儀一	長崎	松村 啓次郎	奈良
松永 正方	愛知	前田 義忠	和歌山	蜂 忠次	福岡	宮内 彌	愛媛
望月 雄三	大阪	村本 頼巳	愛媛	守田 富士秋	大分	森田 秀次郎	鳥取
山川 和夫	長崎	山田 幸	京都	山本 良三	福岡	吉井 政信	奈良
吉浦 大藏	佐賀	吉森 馬太	兵庫	和田 幸男	福岡	渡邊 清太郎	佐賀

文學士

昭和三年三月學士試驗合格

阿部 狂介 東京	今井 直重 奈良	梅田 育太郎 三重	梶原 赴 福岡
川崎 竹一 長崎	川和 高斌 茨城	木村 三千春 熊本	後藤 武士 大分
島村 保岡 山	茂 作實 長崎	白根 孝之 廣島	調 須磨 福岡
新開 長英 福岡	高尾 善一 佐賀	末光 泰介 愛媛	菅沼 太郎 靜岡
高崎 勝文 岡山	長 敬一 福岡	花岡 銳藏 和歌山	平賀 耕吉 島根
百武 常夫 佐賀	松尾 勝福 岡	村田 秀雄 福岡	室橋 春彌 石川
山崎 美一 福井	山田 友治 兵庫	山永 武雄 大分	篠崎 賢路 福岡
有田 和兵衛 廣島	大岡 虎四郎 佐賀	大坪 壽助 鹿兒島	大前 治雄 兵庫
尾籠 仙吉 福岡	織戶 登代子 神奈川	何 乘 堯 中華民國	木下 琢耶 山口
京極 與作 大阪	黒 獲 博長 崎	厚東 誠七郎 山口	江 霧 生 中華民國
田中 定福 岡	瀧川 貞藏 和歌山	武田 春次郎 大阪	檀原 實 香川
筑紫 和臣 大分	徳永 久兵衛 福岡	富田 良夫 長野	常山 寅二 福岡
中桐 卓爾 岡山	藤田 武雄 山口	淵上 幸三 福岡	光吉 八郎 福岡
安田 三郎 福岡	吉田 武夫 茨城	米原 七之助 福岡	渡邊 富作 靜岡

經濟學士

昭和三年三月學士試驗合格

學位錄

(本學ニ於テ授與シタル者) (昭和三年六月末日調)

醫學博士

藤原 教悅 郎	大正十年 九月 一日	久保木 保壽	同	五月十五日
野村 正一	同	角田 俊吉	同	五月十五日
鈴木 三伯	同	内田 孝藏	同	五月二十九日
石原 修	同	山根 政治	同	五月二十九日
奥島 愛治 郎	同	足立 清久	同	六月五日
箕田 貢	同	佐々木 喬	同	六月五日
半田 久雄	同	飯島 博	同	六月三十日
安藤 二平	同	楠田 彰司	同	六月三十日
池上 五郎	大正十一年 二月 十日	小野 貞衛	同	八月一日
安達 憲二	同	向井 元享	同	八月一日
大平 紀陳	同	篠崎 哲四郎	同	十一月一日
新保 十寸 穂	同	内村 安太郎	同	十一月一日

學位錄

諸岡 存 同	菱川 恒生 同	森田 松兵衛 同	黒川 巖 同	戸田 忠四郎 同	平川 武三郎 同	森鼻 正治 同	香宗我部 壽 同	岸本 道夫 同	藤原 榮次郎 同	合尾 友五郎 同	鈴木 勇 同	坂本 輯 同	渡邊 信吉 同
	十二月十一日		十二月廿八日		大正十二年 二月十日		二月二十日			三月二十日	三月二十六日	五月一日	
竹内 銀 同	佐野 寅一 同	鳥居 武雄 同	藤木 廣 同	岩永 仁雄 同	大原 清之助 同	久保 護躬 同	中島 良貞 同	佐伯 義久 同	石川 昇 同	大野 良藏 同	宇木 碩太郎 同	河村 一郎 同	渡邊 泰 同
	六月十八日				六月二十五日			七月二十四日				十一月十九日	

岩淵 友次 同	入戸野 賢二 同	一松 美利 同	小川 勇 同	大野 章三 同	七田 竜雄 同	戸山 昂造 同	飯田 豊三 同	加藤 尙義 同	松尾 武幸 同	土橋 光太郎 同	藤田 卯二六 同	田原 盛 同	執行 作彌 同
	十二月廿六日			大正十三年 一月七日			二月十八日			三月十七日			四月二十八日
奥田 祐安 同	堀内 秀治 同	楠 正人 同	佐藤 三千三郎 同	北原 義尊 同	窪田 孝 同	前田 清光 同	林 能昭 同	隈 鎮雄 同	合馬 魁 同	長松 英一 同	石藤 文七 同	早石 實藏 同	甲斐 外志彦 同
		五月二十四日			六月十六日				六月二十三日				七月十四日

河野亮太郎	同	七月二十六日
淺田爲義	同	
井利 臙	同	
尹治 衡	同	八月一日
向井久市	同	
石山福二郎	同	
伊藤久治	同	
鈴木諒爾	同	十二月八日
勝野克己	同	
内藤三郎	同	
安武正矩	同	
長谷川德三	同	十二月廿四日
百瀬五郎	同	
杉戸清重	同	

竹内 清	同	
細見 憲	同	大正十四年一月十九日
吉永 萌	同	
星野信夫	同	
八代春雄	同	
鴨井楠 柁	同	
野村精策	同	三月九日
金子慎吾	同	
加地義雄	同	
宮下耕圃	同	三月三十日
春日健造	同	
永野 達	同	
荒木齊造	同	
關川一郎	同	五月二十九日

土屋直義	同	
谷野 駿	同	
三木利一	同	
勝木 任	同	六月二日
畑 義雄	同	
三澤 憲	同	
大井知光	同	六月二十九日
中村愛助	同	
前田 實	同	
服卷勝見	同	七月二十五日
小澤雄三	同	
廣瀬信善	同	
小畑 郁	同	
阪上虎彌太	同	十月三十日

井上三郎	同	
二宮亮吉	同	
三河義行	同	十二月五日
大久保一雄	同	
江浦重成	同	
河原治作	同	大正十五年一月二十一日
高崎文雄	同	
森久彌一郎	同	
波多野重與	同	
大西 雄	同	二月十二日
北 光三	同	
加藤安太郎	同	
百合野 順太郎	同	
岡部養逸	同	二月二十七日

操	益富貞三	神林美治	武山定雄	木下友敬	伊藤應隆	清水金三	田中利雄	新名常造	鈴木孝二	田坂仁憲	莊鳳四郎	薄元茂夫	百合野寅松
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	四月三十日					五月五日				六月八日		大正十五年六月八日	

二宮敬治	齋藤權左衛門	渡邊齋	中村龜市	木田篤敬	原實	大坪武之助	祖谷直行	津野田誠吾	稗田憲太郎	田川蟬太郎	森島侃一郎	田中吉左衛門	久米實一
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
七月十三日				九月六日				十月十二日				十二月四日	

平安山長義	中島正德	加藤豐彦	鹽見長衛	掛下玉男	館山林太郎	德山克巳	小野健治	築地美暢	鈴木直光	中村善雄	加藤守吉	青木豹	富田定壽
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十二月十六日					昭和二年二月三日				二月十九日				

筒井省二	加地八郎	古賀收藏	喜多孝慶	樋口助弘	大野四郎	大井司	石澤政男	中村萬里	宮城順	佐野伴治	名倉英二	仙波嘉清	浦上愛夫
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三月七日					三月二十二日					四月二十五日			

大森靜樹	同	六月十四日
市原巖	同	六月二十五日
渡邊治雄	同	
深町穂積	同	
愛川東平	同	
副島廉治	同	七月十八日
正宗一	同	
本郷立一	同	
高雄徳龍	同	
齋藤正敬	同	七月二十八日
鷹津三郎	同	
西尾榮治	同	
渡邊勇	同	昭和二年七月二十八日
傍島耳	同	
松本暢	同	八月十五日
松岡文七	同	
吉見鎮夫	同	
行徳俊則	同	
角田博	同	九月十二日
阿部竹之助	同	
牧野敏雄	同	
太田作治郎	同	十月二十二日
秋武六一郎	同	
横田秀策	同	
田中巖	同	昭和二年十月二十二日
重松平吾	同	
井上東	同	十一月十四日
服部六郎	同	

細田壽榮重	同	
宮城匠山	同	
西岡道隆	同	十二月十二日
高橋憲司	同	
石川勝治	同	
楠五郎雄	同	
原撰	同	
前田又四郎	同	昭和三年一月十日
谷口熊雄	同	
伊藤吉左衛門	同	
南俊治	同	
太田二也	同	
遠藤精虎	同	
古川穂束	同	二月一日
稻田宜男	同	
櫻井郷三	同	
谷口健康	同	
須古秀雄	同	
中牟田厚	同	
杉内庸三	同	三月六日
岡部庸三郎	同	
余霖	同	
内田徒志	同	
堀江憲治	同	
上垣淳造	同	
小宮山友則	同	三月十三日
澤井順一郎	同	
森田近	同	

笠原龜之助	同	
權藤竹藏	同	
副島鎮雄	同	四月十九日
六本木久雄	同	
副島辰太郎	同	
降矢泰甫	同	
荒木駒雄	同	
竹島光藏	同	
內田謙益	同	五月二十一日
鷗木秀二	同	
望月溫象	同	
加來豐記	同	
上村親一郎	同	
河野秀次	同	

山下義夫	同	
大坪豐	同	
吉田美壽利	同	七月四日
中野義尙	同	
高島彪雄	同	
高崎琢男	同	
大野六郎	同	
武內勉二	同	
菅野大作	同	七月十六日
高岡達也	同	
柳井昌憲	同	
間野山松	同	
菊地千秋	同	
平野贊	同	

高橋操三郎 同

工學博士

西澤恭助	大正十一年六月三十日
吉田德次郎	同
栗原鑑司	七月二十二日
鷹部屋福平	同
山田陽清	大正十四年九月一日
杉浦稠三	同
木村忠雄	大正十五年十一月廿六日

鈴木雅次	昭和二年一月十八日
君島武男	同
田邊友次郎	同
井上克己	同
稻田隆	同
栗山捨三	昭和三年二月一日
佐藤正典	同

○九州帝國大學學友會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ九州帝國大學學友會ト稱ス

○九州帝國大學學友會規則

第二條 本會ハ會員ノ親睦ヲ圖リ身心ヲ陶冶スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ九州帝國大學内ニ置ク

第四條 九州帝國大學職員、學生、生徒、卒業生及元福岡醫科大學卒業生ヲ以テ會員トス

第五條 前條ノ外九州帝國大學又ハ元福岡醫科大學ニ縁故アル者ハ會長ニ於テ特ニ會員ニ推薦スルコトアルヘシ

第六條 會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行爲アリタルトキハ會長ハ之ヲ除名ス

第二章 會員

第七條 會員ヲ分チテ左ノ四種トス

一、名譽會員

二、特別會員

三、正會員

四、準會員

第八條 第五條ニ依リ推薦シタル者ヲ名譽會員トス

第九條 九州帝國大學總長、教授、助教授、書記官、事務官、司書官、藥局長、技師、講師及相當

待遇職員ヲ特別會員トス

第十條 九州帝國大學學生、九州帝國大學及元福岡醫科大學卒業生ヲ正會員トス

第十一條 第九條ニ該當セサル九州帝國大學職員及生徒ニシテ本會ニ入會ヲ申出

タル者ヲ準會員トス

第三章 役員

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

副會長

部長

主事

幹事

委員

第十三條 九州帝國大學總長ヲ會長トス

- 第十四條 會長ハ本會一切ノ業務ヲ統轄ス
- 第十五條 九州帝國大學學部長ヲ副會長トス
- 第十六條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 第十七條 各部ニ部長一名ヲ置キ特別會員中ヨリ會長之ヲ選定ス
- 第十八條 部長ハ各其部屬ノ事業ヲ指揮監督ス
- 第十九條 書記官及本部事務官ヲ主事トス
- 第二十條 主事ハ會長ヲ補ケテ常務ヲ處理ス
- 第二十一條 幹事ハ各學部ヨリ三名ツ、ヲ選出ス
- 第二十二條 幹事ハ會長ヲ補ケテ本會ノ業務ヲ執行ス
- 第二十三條 各部委員ハ正會員ノ中ヨリ各學部ニ於テ二名ツ、ヲ選出ス
- 第二十四條 委員ハ所屬部長ノ指揮ヲ承ケ其部ノ業務ヲ執行ス
- 第二十五條 幹事及委員ノ選出方法ハ各學部ニ於テ之ヲ定ム
- 幹事ハ委員ヲ兼スルコトヲ得ス
- 第二十六條 幹事及委員ノ任期ハ各一箇年トス但シ後任者就任ノ時迄ハ滿期後ト

雖モ引續キ其職務ヲ行フベキモノトス

補缺ノ場合ニ於ケル後任者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十七條 本會ニ關スル事務ヲ處理スル爲メ庶務掛ヲ置ク

第二十八條 庶務掛員ハ會員中ヨリ會長之ヲ選定ス

第二十九條 庶務掛ハ主事監督ノ下ニ文書ノ調理金錢ノ出納及物品保管ノコトヲ

掌ル

第三十條 庶務掛ハ會長ノ旨ヲ承ケテ毎年六月適當ノ形式ニ於テ事務及會計報告

ヲナス

第三十一條 役員會ハ本會役員ヲ以テ組織ス

第三十二條 會長ハ必要ニ應シ役員會ヲ召集ス

議案ハ其都度豫メ之ヲ通知スルモノトス但シ緊急ヲ要スルモノニシテ出席員ノ

四分ノ三以上ノ賛成ヲ得タルトキハ直チニ議題トナスコトヲ得

第三十三條 役員會ハ役員ノ二分ノ一以上出席スルニアラサレハ開クコトヲ得ス

但シ定數ニ充タサルトキト雖モ各部ヨリ委員一名以上出席アリシ場合ニ於テハ假決議ヲナスコトヲ得此ノ假決議ハ直ニ役員ニ通知シ一週間後ニ至ルモ其ノ四分ノ一以上ノ異議者ナキトキハ本決議トス

第三十四條 役員會ノ決議ハ出席役員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第三十五條 會員ハ五十名以上ノ賛成者ヲ得テ議案ヲ提出スルコトヲ得

第五章 常 議 會

第三十六條 常議會ハ本會主事及幹事ヲ以テ組織ス

第三十七條 常議會ハ本會ノ向上方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第三十八條 常議會ハ同會議長之ヲ召集ス

第六章 部

第三十九條 本會ニ左ノ部ヲ置ク

一、劍 道 部

二、柔 道 部

三、弓 術 部

四、水 泳 部

五、端 艇 部

六、庭 球 部

七、野 球 部

八、陸上競技部

九、ア式蹴球部

十、ラ式蹴球部

十一、文 藝 部

十二、辯 論 部

十三、音 樂 部

十四、馬 術 部

十五、射 擊 部

十六、旅 行 部

十七、ホツケー部

第四十條 部ニ屬スル事業ハ部長ヨリ會長ニ報告シ隨時之ヲ執行ス

第四十一條 各部ニ於テ事業執行ニ關スル細則ヲ制定セントスルトキハ豫メ會長ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 各部ニ屬スル物品ハ部長之ヲ保管ス

第七章 會計

第四十三條 本會ノ經費ハ會員ノ會費及其他ノ收入ヨリ之ヲ支辨ス

第四十四條 會員ノ會費額ハ左ノ如シ

一、特別會員 俸給月額二百五十分ノ一ヲ毎月離出スルモノトス

二、正會員 一時金拾五圓

三、準會員 一ケ年金壹圓

第四十五條 正會員トシテ新ニ入會スル者ハ入會金トシテ金五圓ヲ納付スヘシ

入會金ハ基本金トシテ積ミ立ツルモノトシ基本金ヨリ生スル利子ハ基本金カ相當ノ額ニ達スル迄基本金ニ繰入レルモノトス

第四十六條 正會員ノ入會金及會費ハ入會金ト同時ニ全額ヲ徵收シ準會員ノ會費

ハ毎年四月之ヲ徵收ス

第四十七條 本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ初マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第四十八條 部長ハ其部次年度ノ費用ヲ豫算シ毎年十一月末日迄ニ會長ニ差出スヘシ

第四十九條 主事ハ其主管ニ屬スル次年度ノ費用ヲ豫算シ毎年十一月末日迄ニ會長ニ差出スヘシ

第五十條 會長ハ必用ニ應シ次年度豫算會議開會前豫算査定會ヲ開クコトアルヘシ其會員左ノ如シ

各部部长

主事

幹事

各部委員 各一名

第五十一條 部ニ屬スル費用ハ部長事務費ハ主事ノ捺印シタル債權者ノ請求書アルニアラサレハ仕拂ヲナスヘカラス

第八章 選舉

第五十二條 毎年十二月一日ヨリ同十五日迄ノ間ニ於テ次年度ノ幹事及委員ノ選舉ヲ行フ

第五十三條 幹事及委員ニ當選シタル者ハ猥リニ辭任スルコトヲ得ス
第五十四條 選舉ニ關スル事務ハ其都度會長掛員ヲ命シテ之ヲ取扱ハシム

附則

- 一、本規則ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 二、九州帝國大學運動會規則ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
- 三、大正十三年四月以前ニ入學シタル者ノ會費ノ徵收ニ就キテハ從來ノ通りトス
- 四、本規則施行ノ日ヨリ終身會員ハ正會員、贊助會員ハ準會員トス
- 五、蹴球部ハ大正十四年四月ヨリ之ヲ設置スルモノトス
- 六、文藝、辯論及音樂ノ各部ハ大正十五年四月ヨリ之ヲ設置スルモノトス

- 七、馬術ハ昭和二年二月一日ヨリ之ヲ設置スルモノトス
- 八、射擊、旅行及ホッケーノ各部ハ昭和二年三月四日ヨリ之ヲ設置スルモノトス
- 九、蹴球部ハ昭和二年三月四日ヨリニツニ分離獨立シア式蹴球部、ラ式蹴球部トス
- 十、會則中第二十五條ヲ次ニ一項追加ノ件ハ昭和二年三月四日ヨリ之ヲ施行ス

○出版

醫學部ニ於テ大正三年以降出版シタル大學紀要(歐文)ノ所載論題左ノ如シ

醫科大學紀要第一卷

日本住血球中ノ中間宿主	醫學博士 宮人慶之助
所謂外傷性、限局性、化骨性、筋ノ外科學的竝ニ實驗的研究	醫學博士 後藤七郎
血栓ノ組織化ニ就テ	東條經治

同 第二卷

日本ニ於テ廣ク蔓延セル人腸内寄生蟲神保氏「トリコステロン」キラス「フリエントリス」ニ就テ	醫學博士 北村勝藏
--	-----------

蟲卵性膀胱炎及膀胱壞死ニ關スル臨床的並ニ實驗的研究

諸種ノ食餌ノ胆汁成分ニ及ホス影響ニ就テ

出血性鼻茸ハ鼻甲介ヨリ發生シ得ルカ

所謂異所の脈絡膜上皮腫ノ腫瘍發生論的知見補遺

胃癌ニ對スル外科的療法ノ成績特ニ永久治療ニ就テ

同 第三卷第一冊

黃疽出血性スピロヘータ病ノ原因、感染、
病理、免疫、豫防及血清療法ニ關スル報告

醫學博士 稻田龍吉
醫學士 井戸泰

醫學士 金子廉次郎

醫學士 法貴六郎

醫學士 伊藤 照

醫學士 奧田喜久三

醫學士 和邇秀恒

醫學士 井戸泰

鼠咬症患者血液中ニ證明セラル、特殊免疫體ニ就テ

醫學士 伊藤 照

醫學士 和邇秀恒

醫學士 奧田喜久三

醫學士 金子廉次郎

醫學士 奧田喜久三

醫學士 越智貞見

醫學士 藤木 廣

醫學士 岩崎德松

醫學士 高畑哲五郎

醫學士 問田亮次

醫學士 問田亮次

醫學士 問田亮次

醫學士 問田亮次

鼠咬症ノ病理解剖及本症一解剖例ノ副腎及腎
臟中ニ見出サレタル「スピロヘータ」ニ就テ

同 第三卷第二冊

羊膜類眼窩ノ比較解剖及ヒ其形態學的意義

X線上ニ現レタル一種稀有ナル骨長經成長異常ニ就テ

總發生癆腫知見

「クレアチン」及ヒ「クレアチニン」ニ就テ

日本人全體ノ膽囊胆汁成分ニ就テ

膽石症ト胃液分泌障害トノ關係ニ就テ

廣汎ナル小腸切除例並ニ其新陳代謝試驗ニ就テ

同 第四卷第一冊

内臟轉錯性ニ於ケル心臟電流曲線ニ就テ

醫學博士 稻田龍吉

家兔ニ於ケル熱性呼吸疾患ノ中樞ニ就テ

醫學博士 石原誠

鳩ノ頭部「ニスタグムス」ニ就テ

醫學士 緒方大象

「メガタ」ノ體色遺傳ニ就テ

醫學博士 石原誠

莖麻ノ交雜ニ就テ 第一報告

理學士 額綱理一郎

裸子植物ノ親緣關係ニ關スル血清學的研究

理學士 額綱理一郎

「カプトガニ」ノ分類學上地位ニ就テ

醫學士 緒方大象

異性溶血素形成ノ抗體元ニ就テ

醫學士 岩井誠四郎

同 第四卷第二冊

包蟲知見補遺

醫學士 三田源四郎

同 第五卷第一冊

「釀母菌性」腦脊髓膜炎ニ就テ

醫學士 渡邊信吉

胃腸潰瘍ノ原因トシテ肝臟ノ病理的變化ノ價值ニ就テ

醫學士 岩崎德松

無害性「トラゲイナ」アム
「バ」(新種)ノ存在ニ就テ 第一回報告

醫學士 志村宗平

試験管内ニ於ケル赤痢アメーバノ嚢子形成ニ就テ

醫學士 吉田一毅

醫學部紀要第五卷第二冊

七日熱ノ病原、疫學及病理ニ關スル研究

醫學博士 井戸泰

醫學士 伊藤照

醫學士 和邇秀恒

醫學士 奧田喜久三

醫學士 法貴六郎

醫學博士 井戸泰

醫學士 伊藤照

醫學士 和邇秀恒

醫學士 問田亮次

醫學士 問田亮次

醫學士 矢野雄

七日熱ノ病原ニ關スル第二回報告

膽囊水腫ノ實驗的成生ニ就テ

膽石症ノ膽囊内容物ノ細菌的検査ニ於テ

日本哺乳兒ノ新陳代謝ニ關スル「エネルギー」的觀察

同 第五卷第三冊

良性並ニ惡性雞腫瘍ノ移植ニ關スル研究

大學院學生 山本耕橋

所謂陰門侵蝕性潰瘍殊ニ其ノ原因ニ就テ

醫學士 楠田彰司

葡萄狀卵巢囊腫ニ就テ

醫學士 楠田彰司

沈降反應ニ於ケル沈澱ノ由來ニ就テ

醫學士 藤原教悅郎

頭部鬱血ニ因ル聽器損傷ノ實驗的研究

醫學士 松井太郎

同 第六卷第一冊

關節疾患ノ際筋萎縮知見ニ關スル實驗的研究補遺

ドクトル 溝口喜六

非炎症性膽石ノ實驗的生成ニ關スル疑義

醫學士 岩永仁雄

小兒ノ赤痢用疾患特ニ其病源ニ就テ

醫學士 箕田 貢

心筋ノ基本性質ニ關スル分析的研究特ニ心強直ヲ

醫學士 佐々木 喬

考慮シテ(心臟ノ生理學並藥物學ニ關スル補遺)

理學士 小島 均

双子葉植物及裸子植物間ニ於ケル類縁關係ノ血清學的研究

醫學士 藤木 廣

動物實驗ニ於ケル骨折治癒機轉ニ

醫學士 藤木 廣

同 第六卷第二冊

腫瘍殊ニ癌腫及肉腫ノ格子樣纖維網ニ就テ

醫學博士 藤木 廣

「バラゴニムス、ウエステルマン」ノ發生ノ知見補遺

醫學博士 宮人慶之助

腺細胞ニ於ケル「コンドリチソーム」ノ配列ニ就テ(豫報)

醫學士 石澤政男

前房電流曲線ニ於ケルT波ニ就テ

醫學士 小野貞衛

「フリクテン」ノ原因ニ就テ並ニ其病源研究ノ動物實驗的追加

醫學博士 石原 誠

同 第七卷

膽囊ノ吸收力ニ關スル實驗的研究

醫學士 久保木 保壽

急性出血性脾壞疽及ヒ脾液中毒症ノ原因並ニ其免疫的豫防及ヒ治療法ニ關スル研究

醫學士 岩永仁雄

尿液殊ニ尿酵素原ノ消化力ニ關スル研究

醫學士 大野良藏

輸血ノ實驗的並ニ臨床的研究

醫學士 大野良藏

大腸殊ニ其下降部及S字結腸ノ神經支配ニ關スル實驗的研究

醫學士 鳥井武雄

特發性大腸擴張症ノ原因並ニ本體ニ關スル實驗的及臨床的研究

醫學士 石川 昇

蓖麻ノ交雜ニ就テ 第二報告

醫學士 石川 昇

理學博士 額頰理一郎

同 第八卷第一冊

結核性股關節炎ノ病理知見補遺

醫學博士 藤木 廣

各種ノ精神病者ニ於ケル脈絡叢ノ顯微鏡的検査

醫學博士 諸岡 存

解剖學的竝ニ臨床關係ニ於ケル咽頭壁ニ就テノ注意

ドクトル ウイルヘルム、クライデウオルフ

可移植性鼠癌ノ感受性及發育ニ對スル生殖腺ノ影響

醫學士 淺田 爲義

同 第八卷第二冊

潛血中珠ニ門脈領域ニ侵入セル細菌ニ對スル肝臟機能ノ實驗的研究

醫學士 楠 正人

先天性正中全開放性頸部瘻管ニ就テ

醫學士 執行 作彌

同 第九卷第一冊

分殖性幼絲虫ニ關スル臨床的、病理解剖學的並ニ實驗的研究

田代 規矩雄

管狀骨幹端ニX線狀ニ現ハルル並行橫線ノ發生並ニ其意義ニ就テ

醫學博士 淺田 爲義

「オステオゲネーシス、インパーフェクタ」齒牙ノ臨床並ニ組織學的

醫學士 内藤 三郎

研究、附、所謂「コルツフ」氏纖維及ビ其齒骨生成ニ關スル意義ニ就テ

醫學士 田中 利雄

劇症小兒赤痢及疫痢ノ腦症狀ニ就テ

醫學士 田中 利雄

所謂人乳中毒症ニ就テ

心臟刺戟傳達系統ノ機能ニ就テ

醫學士 野村 精策

同 第九卷第二冊

急性腸管閉塞症(イレウスノ)ノ死因ニ就テ(中毒説)

醫學博士 杉 戸 清重

腹膜癒着防止ニ關スル研究

醫學博士 窪 田 孝

脾臟全橫斷ノ豫後及ヒ外科的處置ニ關スル實驗的研究

醫學博士 窪 田 孝

淋巴球ノ脾液消化力促進機能ト其腸内移行ニ關スル研究

醫學博士 大野 良藏

同 第十卷

膽汁ノ十二指腸内排出ニ關スル實驗的研究

醫學博士 岩 永 仁雄

特ニ「オツチ」氏括約筋ノ機能ニ就テ

醫學博士 石山 福二郎

膽汁ノ十二指腸内排出ニ關スル膽囊機能ノ實驗的研究特ニ膽囊壁ニ存スル「ヒヨリン」様ノ物質ト「アドレラリン」トノ關係ニ就テ

醫學博士 限 鎮雄

氣胸肺ノ呼吸及血行ニ關スル實驗的研究

醫學博士 限 鎮雄

手術的肺膿瘍脫療法ニ關スル實驗的研究

醫學博士 吉 永 萌

動物體温ニ關スル實驗的研究

醫學博士 淺田 爲義

鼠癌移植經過中ニ於ケル肉腫發生ニ關スル知見補遺

「マウス」腫瘍ノ交代移植ニ就テ
所謂麻酔後死ノ死因ニ就テ

醫學士 岡部 養逸
醫學士 岡部 養逸
醫學士 鈴木 直光

醫學部紀要(歐文)ハ學術研究會議出版日本醫學輯報ト合併スルコト、ナリ爲ニ第十卷ニテ終刊トス

工學部ニ於テ大正二年以後出版シタル大學紀要(歐文)ノ所載論題左ノ如シ

工科大學紀要第一冊第一號

造岩鑛物ノ干涉圈ニ依ル岩石薄片ノ厚サノ測定
靜電容量ノ計算

理學士 河村 幹雄
工學博士 大竹 太郎

同 第二號

澁木色素ノ研究並ニ其「アゾ」硫化及「ニトロ」染料ニ就テ
鑄鐵ノ曲ケ彈性ニ就テ

工學士 佐藤 定吉
工學博士 小野 鑑 正

發電動機ニ於ケル磁線ノ分布

工學博士 大竹 太郎

同 第三號

引キ及ヒ振リニ對スル鑄鐵ノ強サニ就テ

工學博士 小野 鑑 正

同 第四號

彈性地盤上ニ於ケル基礎ノ數學的研究

工學博士 林 桂 一

鋼ノ彈性ニ就テ

工學博士 小野 鑑 正

工學部紀要第一冊第五號

荷重ノ變化ニヨリ土壓ヲ受クル二三構造物ノ研究

工學博士 林 桂 一

断面ノ一樣ナラサル長柱ノ安定ニ就テ

工學博士 小野 鑑 正

同 第二冊第一號

再ヒ斷性地盤上ノ基礎ニ就テ

工學博士 林 桂 一

衝擊試驗ニ就テ

工學博士 小野 鑑 正

同 第二號

彎曲及ヒ振リノ聯立作用ヲ受クル鋼ノ疲勞

工學博士 小野 鑑 正

同 第三號

ベルトン水車ニ於テ傾斜ヲ異ニセル、バケットノ比較試驗

工學博士 中原 淳 藏

同 第四號

「エイリー」ノ微分方程式並ニ其彈性學上二三ノ應用ニ就テ
結構構造物ノ彈性變形ニ就テ

工學博士 林 桂一

工學博士 三瀬幸三郎

同 第五號

變形ヲ受ケタル金屬ノ内部組織ノ
X線試験其ノ一主ニ鋼線ニ就テ

工學博士 小野 鑑正

同 第六號

變形ヲ受ケタル金屬ノ内部組織ノX線試験
驗其ノ二種々ノ變形ヲ受ケタル鋼ニ就テ

工學博士 小野 鑑正

同 第七號

兩端拘束桁ノ軸張力ヲ考慮セル計算法ニ就テ

工學博士 鷹部尾 福平

同 第三冊第一號

結構構造物ノ彈性振動ニ就テ

工學博士 三瀬幸三郎

同 第二號

鋼ノ疲勞ニ關スル實驗

工學博士 小野 鑑正

彈性學ノ靜的問題ニ對スル變分方程式ノ應用ニ就テ

工學博士 小野 鑑正

同 第三號

可能働變位法則ノ材料力學ニ於ケル應用ニ就テ
軸壓力ヲ受ケル或ハ受ケザル棒ノ
橫振動自然周期ノ略算法ニ就テ

工學博士 林 桂一

工學博士 生源寺 順

同 第四號

ブラウン管ダイヤグラムノ廻轉方向ノ一直接決定法ニ就テ
三鹽化アンチモンノ錯鹽ニ就テ

工學士 清山 久吉

工學士 三宅 三郎

同 第五號

變形ヲ受ケタル金屬ノ内部組織ノX線試験、其三率
引、壓縮及振リヲ受ケタル銅並ニアルミニウムニ就テ

工學博士 小野 鑑正

同 第五號

回轉電界内ニ靜止セル導電性誘電體圓體ニ働ク廻轉能率

工學博士 宮崎鐵太郎

同 第六號

變形ヲ受ケタル金屬ノ内部組織ノX線試験其四、牽引、
壓縮及振リニ依リテ粘性的變形ヲ受ケタルα鐵ニ就テ

工學博士 小野 鑑正

變形ヲ受ケタル金屬ノ内部組織ノX線試験其五、
結晶排列ノ機制並ニ變形ニ依ル硬化ノ原因ニ就テ

工學博士 小野 鑑正

同 第七號

彎曲桁及彎曲框桁ノ研究

同 第一號

工學博士 山田陽清

渦卷ポンプノ實驗的研究

工學士 大森徳作

カルミン酸ノ化學構造ニ就テ

工學士 宮川一郎

同 第二號

矩形断面ノ廣ガル通路中ノ水流ニ關スル實驗

工學博士 生源寺順

工學士 田中謙三

工學士 大森徳作

工學士 檜本達

同 第三號

應力ニ基ク硝子ノ光學的現象ニ對スル溫度ノ影響

工學士 奥田克己

同 第四號

アニリン及其ノ同屬體ノ加硫促進作用ニ就テ

工學博士 君島武男

同 第五號

混凝土ノ「ウオオカビリチー」測定ノ新裝置

工學博士 吉田徳次郎

同 第六號

剛接構造物ノ彈性變位ニ就テ

工學博士 三瀬幸三郎

同 第七號

ヘルトン水車バケット取付ケノ傾斜角ニ就テ

工學博士 生源寺順

任意ノ位置ニ於ケル集中荷重ノ作用ヲ受クル矩形平面板ノ計算並ニ方形板ヲ用キタル彎曲試驗

工學博士 稻田隆

同 第五冊第一號

鋼ニ含有セララルル酸素ノ炭滲ニ及ホス影響ニ就テ

工學博士 井上克己

工學部ニ於テ學術研究業績發表ノ主要機關タル紀要ニ對スル副機關トシテ臨機ニ

邦文ノ定期出版物刊行ノ計畫成リ「工學彙報」ト名付ケ大正十五年五月二十日第一卷

第一號ヲ發行セリ其ノ所載題目左ノ如シ

工學彙報第一卷第一號

高爐セメント混凝土

教授 工學博士 吉田徳次郎

圓板ニアタル噴出水ノ常數

講師 工學士 檜本達

小規模ノ蓄電池充電ニ適スル各種整流器ノ比較實驗報告

教授 工學博士 降矢芳郎

オツシログラムノ歪ニ就テ二三ノ實驗

助教授 工學士 清山久吉

船ノ設計ニ直列計算圖表ノ應用

教授 工學士 野村省吾

本邦産鑄物砂ノ機械分析

工學士 松塚清人

第二號

Clifford 函數トソノ應用(第一)

助教授 工學士 伊藤德之助

米國ニ於ケル工業教育管見

教授 工學博士 荒川文六

液體酸素爆藥爆破實驗報告

教授 工學士 小田二三男

高速度工具鋼ノ硬度、顯微鏡組織並ビニ電氣抵抗トノ關係

教授 工學士 井上克己

石油ノ加壓熱分解ニ就テ

助教授 工學士 加藤常太郎

彈性線微分方程式ノ近似性

助教授 工學士 久野重一郎

第三號

内燃機關ノ氣筒内瓦斯ノ溫度

助教授 工學士 岡本勇象

船ノ縱動搖ニ對スル波ノ有効傾斜

助教授 工學士 淺羽隆太郎

23 乘算表

寫真乾板ノ製法ニ就テ

助教授 工學士 久野重一郎

鑄鐵ノ熔解溫度ガ黒鉛析出ニ及ス影響

助教授 工學士 和田正雄

金屬弧光ニ就テ

助教授 工學士 谷村 照

第四號

ペルトン、ノツヅルニ關スル實驗

教授 工學博士 生源寺 順

吃水測定裝置ノ變遷、附液量測定裝置

教授 工學士 野村省吾

混凝土ノ Workability ニ就テ

教授 工學博士 吉田德次郎

酸性白土二三ノ應用

助教授 工學士 奥野俊郎

交番、廻轉磁界ノ一考察

教授 工學博士 宮崎鐵太郎

第五號

微粉末ヲ混浮セル空氣流ニ關スル實驗ノ豫備報告

教授 工學博士 山口修一

同

助教授 工學士 岡本勇象

同

工學士 今村與三太郎

塊鐵廻轉子

緩働繼電器ニ就テ

孔アル薄板ニ於ケル應力ノ分布

桐油ニ就テ

同 第二卷第一號

ラヂオ受信用コイルノ自己容量ト其抵抗ニ及ホス影響

重金屬ノ鹽類ト共存セル無機酸ノ定量

Nolley 氏炭素迅速定量法

Waugh Turbo Model 31 鑿岩機ニ就テ

燒玉ヲ有スル石油機關ニ關スル實驗

砂鐵鑛ノ燒結溫度(鐵冶金實驗室報告第三號)

同 第二號

工學士 原田 恭介

工學士 若崎 道康

助教授 工學士 淺羽 隆太郎

助教授 工學士 向井 參之充

助教授 工學士 難波 幸一

助教授 工學士 向井 參之充

助教授 工學士 藤田 守太郎

助教授 工學士 山田 穰

助教授 工學士 岡本 勇象

教授 工學士 井上 克己

助教授 工學士 谷村 照

助教授 工學士 野口 重時

同 第二號

Cathode-ray Oscillographニ依ル Frequency Calibrationニ就テ 助教授 工學士 難波 幸一

メタン瓦斯ニ就テ 助教授 工學士 野田 健三郎

操舵用導鎖滑車据付位置ニ就テ 教授 工學博士 織田 經二

セメント糊狀體ヲ塗リタル鋼釘ノ粘着強度ニ就テ 教授 工學士 野村 省吾

二ツノ水流ノ衝突ニヨル損失(一) 教授 工學博士 吉田 徳次郎

醬油防腐劑 助教授 工學士 檜本 達

同 第三號 助教授 工學士 栗山 捨三

同 教授 工學博士 生源 寺順

ベルトン水車バケット取付ケノ傾斜角ニ就テ 助教授 工學士 久野 重一郎

影響函數性撓解法ニ就テ 教授 工學士 田邊 唯司

クローム鍍金ニ就テ 教授 工學士 中村 健二

粘土ヨリアルミナノ分離ニ就テ 第一報 復州粘土ノ處理 教授 工學博士 寺野 寛二

工學士 西見 幸生

蓄電池ノ放電々流ト放電容量トノ關係ヲ表ハス式ニ就テ

工學士 木村 介次

船ノ橫動搖ト帆樞ノ振動トノ交互作用ニ就テ

教授 工學士 渡邊 惠弘

角梁ニ於ケル應力ノ二次元的計算

工學士 奧田 克己

同 第四號

水素ノ電解製造ニ就テ

教授 工學博士 寺野 寬二

一樣ナラサル靜水壓ノ作用ヲ受クル矩形平板ノ一解法

工學士 下山 弘通

日本及ヒ獨逸ノ標準方法ニヨル同一混凝土ノ應壓強度ニ就テ

助教授 工學博士 稻田 隆

同 第五號

護謨栽培事業視察報告

教授 工學博士 君島 武男

復元性曲線ノ應用

教授 工學士 渡邊 惠弘

內燃機關理論熱効率ノ近似式

工學士 山縣 清

本邦產鑄物砂ノ物理的性質ニ關スル研究(其ノ一)

工學士 松塚 清人

同 第六號

本邦產鑄物砂ノ物理的性質ニ關スル研究(其ノ二)

工學士 松塚 清人

直接陽晝法ニ就テ

助教授 工學士 和田 正雄

電纜ノ安全電流ニ就テ

教授 工學博士 降矢 芳郎

齒車ノ啮合狀態試驗機及其ニ依ツテ行ヒシ二三ノ試驗

教授 工學博士 岩岡 保作

同 第三卷第一號

鐵筋混凝土高架橋ノ經濟的設計ニ就テ

助教授 工學士 和栗 明

自己勵磁型同期電動機

工學士 原田 恭介

樁ノ支索ノ方向ニ就テ

教授 工學士 野村 省吾

同期電動機ノ亂調ニヨル電流ノ増加ニツキテ

助教授 工學士 熊澤 尙文

航空發動機ノ備ニ及ホス高サノ影響

工學士 山縣 清

三菱上山田炭坑ニ於ケル通風實驗報告

教授 工學士 小田 二三男

結構構造物振動ノ近似解法ニ就テ

教授 工學博士 三瀨 幸三郎

同 第二號

鍊鐵ニ關スル二三ノ實驗

工學士 下村益太郎

孔ノ流出係數ニ就テ

教授 工學博士 生源寺 順

動搖スル船ノ水槽内ノ水壓ニ就テ

教授 工學士 渡邊 恵弘

舷弧ノ形狀ニ就テ

教授 工學士 野村省 吾

硫砒鐵礦ノ昇華ニ就テ

助教授 工學士 佐藤恒 義

反照檢流計類のふれ (Deflection) に現はるる機械的振動妨害に就テ

助教授 工學士 野田健三 郎

農學部ニ於テ大正十二年以降出版シタル大學紀要歐文ノ所載論題左ノ如シ

農學部紀要第一卷第一冊

植物ニ對スル電氣刺戟ノ作用ニ就テ

理學博士 額綱理一 郎

同 第二冊

家蠶ニ於ケル新シキ伴性突然變異

農學博士 田中義 麿

同 第三冊

組織粉末容積ニヨル植物体内ノ乾燥物質及ヒ灰分含有量測定ニ就イテ

理學博士 額綱理一 郎

同 第四冊

シスチン及システインノ新定量法ト其應用

農學博士 奥田 謙

同 第五冊

二、三栽培植物ノ種子成熟ニ對スル果實ノ影響ニ就テ

農學士 小坂 博

同 第六冊

稻葉ノ解化ニ就テ

農學士 岩田久 敬

同 第七冊

植物ノ凋萎經過中ニ於ケル葉ノ蒸散力ノ變化

理學博士 額綱理一 郎

同 第八冊

家蠶ノ三系統ニ於テ獨立ニ生シタル伴性油蠶

農學博士 田中義 麿

家蠶ノ第四聯關群タル枝蠶及褐圓斑

農學博士 田中義 麿

家蠶ニ於ケル符號、複對因子、交叉並ニ聯關群

農學博士 松野正 一

同 第二卷第一冊

氣象ト火災

農學博士 田中義 麿

○出版

同

第二冊

そのまめノ根ニ於ケル細胞分裂ト伸長生長トノ關係ニ就テ

小島 均

同

第三冊

澗萎經過中ノ植物ニ於ケル葉内水分含有量ノ變化

理學博士 瀨藤理一郎

農學部學藝雜誌

大正十三年十二月第一卷第一號ヲ發行シ爾來不定期ノ農學部内各教室ヨリノ原著

論文及ヒ學術的事項ノ報告ヲ蒐集出版セリ其掲載原著ノ題目次ノ如シ

第一卷第一號

稻ノ蒸騰作用ト通導組織發達トノ關係

農學士 安田 貞雄

世界ノ主要柑橘類

同 第二號

農學士 田中長三郎

深ク灌溉セラレタル稻ノ倒伏シ易キ原因ニ就テ

農學博士 加藤 茂苞

LEMONノ學名ニ就テ

農學士 安田 貞雄

農學士 田中長三郎

海鼠類ノ卵ノ成熟及ヒ受精ニ就テ

理學博士 大島 廣

同 第三號

廣東 Lemonニ就テ

農學士 田中長三郎

ヒスチヂン及ヒチロシンニ對スル臭素ノ反應ニ就テ

農學士 藤井 音松

圃場試驗ニ於ケル實驗的誤差ト品種比較試驗ノ方法トニ就テ

農學士 高山 卓爾

植物ト外界トノ關係ノ數量的方法ニヨル研究 I. Oenothera

竹内 亮

biennis 及 Oe. odorataニ於ケル二、三ノ觀察及ヒ實驗

理學博士 瀨藤理一郎

同 第四號

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ第一報嫌觸現象ト種類トノ關係

農學士 中田 覺五郎

二、三ノ Thunbery 植物ニ就テ

農學士 田中長三郎

無半月紋蠶ノ遺傳ト致死因子

農學博士 田中 義鷹

同 第五號

二、三栽培植物ニ於ケル細胞液濃度ト生長トノ關係

農學士 佐藤 健吉

園藝命名理論特ニ柑橘屬ノ改訂ニ就テ

農學士 田中長三郎

シヤウジャウバヘノ學名並ニ生態

體皮切開後ニ於ケル蠶兒及ヒ蠶蛾ノ器官ノ運動ニ就テ

赤松及黒松芽條ノ伸長生長ト肥大生長トノ關係ニ就テ

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ第二報
蠶觸現象ノ形態的觀察並ニ其原因

第二卷第一號

鶏卵ノ發生中システン、トリプトフ
アン及ビチロシンノ量的變化ニ就テ

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ第三報菌核菌ノ胞子型及之ハト *Hypochuscent-
rius* (L. F. V.) U. H. Solani PRILL et DELACR. H. cucu meris FR. 1
ノ系統的關係並ニ種類的關係ニ就テ

蠶兒ノ化學的研究。第一、液狀絹ノ凝固ト水素イオン濃度ノ關係ニ就テ
第二、絹質生成期間ニ於ケル蠶體蛋白質ノチロシン、トリプトファン及ビ
システンノ量的變化

蠶ノ黒絹、黄血兩因子交叉價ノ變異ニ關スル研究

日本領土ノ野生柑橘ニ就テ

同 第二號

Grapefruit ノ學名ニ就テ

Washington Navel Orange ノ學名ニ就テ

栗崎真澄

農學士 桂 應 祥

農學士 森川 均 一

農學士 中田覺五郎

農學士 趙 伯 顯

農學士 中田覺五郎

農學士 中 島 茂

農學士 木暮 楨 太

農學士 田中長三郎

農學士 田中長三郎

農學士 田中長三郎

農學士 田中長三郎

赤松ト黒松トノ中間的性質ヲ有スル松ノ葉ノ解剖學的研究

世界ニ於ケル主要果樹ノ地理的分布
並ニ其本邦ニ對スル適應性ニ就テ

同 第三號

攀援植物ノ機巧ニ就テ

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ第四報菌核ノ大小形狀
Strain トノ關係ニ就テ

植物体内物質含有量測定ニ「組織粉末法」ヲ利用スル事ノ効果ニ就テ、
一、生態及ビ比較生理學的研究ノ場合ニ於ケル植物体内水分含有量ノ測定

システインノ鹽化亞鉛ニトロプルシッド反應ニ就テ

植物ト外界トノ關係ノ數量的方法ニヨル研究II 水分蒸散及ビ
吸收兩作用ノ相互關係ニヨル研究法ノ植物生態的價值ニ就テ

同 第四號

農學士 森川 均 一

農學士 中村三八夫

理學士 鈴木清太郎

理學士 長澤 武雄

大森 福義

農學士 中田覺五郎

理學博士 額 額 理 一 郎

農學士 安田 貞 雄

農學博士 奥田 讓

西島 裕 樂

竹内 亮

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ。第五報。菌核菌ノ培養の生理的並ニ寄生的性質トStamトノ關係

磷酸鹽ノ肥效ニ對スル珪酸ノ效果

各種ケラチン物質中ニ於ケルシスチン含量ニ就テ

植物体内物質含有量測定ニ「組織粉末法」ヲ利用スル事ノ効果ニ就テ。二、種子ノ乾量及ビ灰分含有量ノ比較測定

ウレアーゼト蛋白質トノ關係ニ就テ

菌核菌一名白絹病菌ニ就テ。第六報。菌核菌ノ突然變異ノ二例

同 第五號

桑細菌病特ニ其病原菌ニ就テ

Pycnanath 屬ニ關スル研究補遺

稻ノ分蘖ニ關スル研究。第一報。灌溉水及ビ日光供給度其他ノ一、二條件ノ分蘖度ニ及ボス影響

蛤蚧ニ寄生スル海蜘蛛ニ就テ

海鼠ニ附着シテ生活スル海蜘蛛ニ就テ

變態植物ノ機巧ニ就テ。第二報（附豫報補正）

農學博士 中田覺五郎

農學士 關 泰平

農學士 武田貞三

理學博士 瀨瀨理一郎

深城貞義

農學士 石橋 一

農學博士 中田覺五郎

瀧元清透

栗崎真澄

深城貞義

理學博士 大島 廣

理學博士 大島 廣

理學博士 鈴木清太郎

大森福義

荒木良照

法文學部ニ於テ大正十五年ニ出版シタル大學紀要歐文ノ所載論題左ノ如シ

法文學部紀要第一卷第一號

明治維新ニ至ル近代日本ノ歴史的發展ニ就テ

定型トシテノ共同社會

憲法ニツイテ

新日本主義ノ研究

社會ノ地域的開放

三小説家ノ比較研究—デョーヂ、エリオット、デョーヂ、メレディス及ビ トマス、ハーデイ

十四行詩 五ツ

シントラウス、トフォイエ、ルバツ、ハー彼等ノ基督教觀ニ對スルデョーヂ、エリオットノ態度

以太利亞美術印象記

法學士 藤澤親雄

文學博士 高田保馬

法學士 山之内 一郎

法學士 藤澤親雄

文學博士 高田保馬

文學士 豐田 實

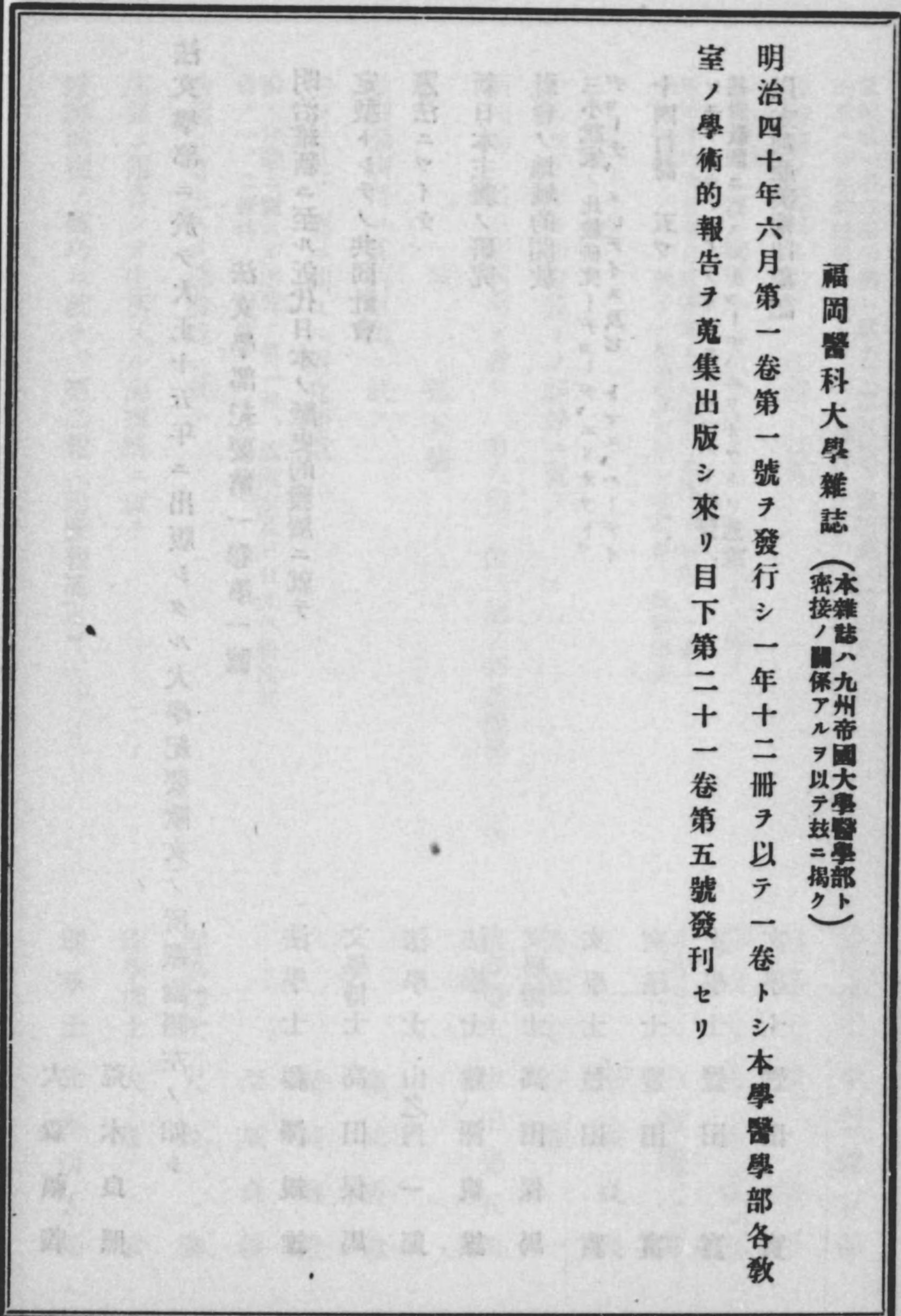
文學士 豐田 實

文學士 豐田 實

文學士 豐田 實

福岡醫科大學雜誌 (本雜誌ハ九州帝國大學醫學部ト
密接ノ關係アルヲ以テ茲ニ掲ク)

明治四十年六月第一卷第一號ヲ發行シ一年十二冊ヲ以テ一卷トシ本學醫學部各教室ノ學術的報告ヲ蒐集出版シ來リ目下第二十一卷第五號發刊セリ



○學生生徒、入學志願者及卒業者學科別 (昭和三年五月末日調)

種別	大 學 院						計	入學志願者	入學者	卒業者
	醫學ニ關スル事項研究ノ者	醫學ニ關スル事項研究ノ者	農學ニ關スル事項研究ノ者	法學ニ關スル事項研究ノ者	文學ニ關スル事項研究ノ者	經濟學ニ關スル事項研究ノ者				
大正九年入學							二			
大正十年入學							二			
大正十一年入學							二			
大正十二年入學							二			
大正十三年入學							二			
大正十四年入學							二			
大正十五年入學							二			
大正十六年入學							二			
大正十七年入學							二			
大正十八年入學							二			
大正十九年入學							二			
昭和二年入學							二			
昭和三年入學							二			
計							二			

○學生生徒、入學志願者及卒業者學科別

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers. The text is mostly illegible due to fading.

五	七		七	
一七	五		一	四
三三	八	三	四	一
一一	一		一	
10				
三三				
三三	九			
二〇	九			
支	一八	三	三	六
一七				

Table with multiple columns and rows, containing faint text and numbers. The text is mostly illegible due to fading.

工學部入學者欄中昭和三年度ニ於テハ入學志願者ハ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、應用化學科、造船學科各收斂人員ニ超過シタルヲ以テ選抜試験ヲ行ヘリ其結果土木工學科入學志願者三十三名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメ九名ヲ探續學科ニ、五名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。機械工學科入學志願者二十二名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメ三名ヲ探續學科ニ、二名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。電氣工學科入學志願者三十三名中十九名ヲ同學科ニ入學セシメ四名ヲ探續學科ニ、四名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。應用化學科入學志願者十七名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメタリ。造船學科入學志願者十三名中十名ヲ同學科ニ入學セシメタリ。法文學部大正十四年入學者中ニハ本學部規程第二十條ニ依ル在學繼續者(二十二名)ヲ含ム。

○學生生徒入學志願者及入學者入學前教育別 (自昭和二年六月至昭和三年五月)

種別	醫學部		工學部		農學部		法文學部	
	計	支	計	支	計	支	計	支
大學卒業	177	177	25	35	13	11	14	36
第一高等學校卒業	37	37	2	3	1	3	2	3
第二高等學校卒業	28	28	1	1	1	1	1	1
第三高等學校卒業	9	9	1	1	1	1	1	1
第四高等學校卒業	2	2	1	1	1	1	1	1
入學志願者	177	177	25	35	13	11	14	36
入學志願者	177	177	25	35	13	11	14	36

種別	醫學部		工學部		農學部		法文學部	
	計	支	計	支	計	支	計	支
第五高等學校卒業	177	177	25	35	13	11	14	36
第六高等學校卒業	37	37	2	3	1	3	2	3
第七高等學校卒業	28	28	1	1	1	1	1	1
第八高等學校卒業	9	9	1	1	1	1	1	1
福岡高等學校卒業	2	2	1	1	1	1	1	1
佐賀高等學校卒業	36	36	1	1	1	1	1	1
山口高等學校卒業	19	19	1	1	1	1	1	1
松本高等學校卒業	33	33	1	1	1	1	1	1
松山高等學校卒業	15	15	1	1	1	1	1	1
水戸高等學校卒業	8	8	1	1	1	1	1	1
山形高等學校卒業	5	5	1	1	1	1	1	1
弘前高等學校卒業	1	1	1	1	1	1	1	1
松江高等學校卒業	6	6	1	1	1	1	1	1
大阪高等學校卒業	2	2	1	1	1	1	1	1
入學志願者	177	177	25	35	13	11	14	36
入學志願者	177	177	25	35	13	11	14	36

○學生生徒入學志願者及入學者入學前教育別

種別	入學志願者														計
	醫學部	工學部	農學部	法文學部	浦和高等學校卒業	靜岡高等學校卒業	高知高等學校卒業	廣島高等學校卒業	姫路高等學校卒業	新潟高等學校卒業	東京高等學校卒業	甲南高等學校卒業	富山高等學校卒業	成蹊高等學校卒業	
醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部
醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計	醫學部計
工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部
農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部
法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

種別	入學志願者														計
	醫學部	工學部	農學部	法文學部	高等工業學校卒業	高等農林學校卒業	高等商業學校卒業	高等師範學校卒業	外國語學校卒業	大學豫科卒業	其他	入學者	入學志願者	入學者	
醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部	醫學部
工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部	工學部
農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部	農學部
法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部	法文學部
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

○學生生徒入學志願者及入學者入學前教育別

本表中「委」印ヲ付シタルハ委託學生、「支」印ヲ付シタルハ支那人ナリ。
 工學部入學者欄中昭和三年度ニ於テハ入學志願者ハ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、應用化學科、造船學科各收容人員ニ超過シタルヲ以テ選抜試験ヲ行ヘリ。其結果土木工學科入學志願者三十三名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメ九名ヲ採續學科ニ、五名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。機械工學科入學志願者二十二名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメ三名ヲ採續學科ニ、二名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。電氣工學科入學志願者三十三名中十九名ヲ同學科ニ入學セシメ四名ヲ採續學科ニ、四名ヲ冶金學科ニ入學セシメタリ。應用化學科入學志願者十七名中十五名ヲ同學科ニ入學セシメタリ。造船學科入學志願者十三名中十名ヲ同學科ニ入學セシメタリ。

○學生生徒道府縣別 (昭和三年五月末日調)

道府縣別	學部別	
	學生	生徒
宮城	—	—
岩手	—	—
青森	—	—
北海道	—	—
大學院	—	—
醫學部	—	—
工學部	—	—
農學部	—	—
法文學部	—	—
合計	—	—

道府縣別	學生	生徒	合計
新瀉	—	—	—
神奈川	—	—	—
東京	—	—	—
千葉	—	—	—
埼玉	—	—	—
群馬	—	—	—
栃木	—	—	—
茨城	—	—	—
福島	—	—	—
山形	—	—	—
秋田	—	—	—
大學院	—	—	—
醫學部	—	—	—
工學部	—	—	—
農學部	—	—	—
法文學部	—	—	—
合計	—	—	—

○學生生徒道府縣別

○學生生徒道府縣別

滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	廣島	山口	學部別	
											學生	生徒
											大學院	三
											醫學部	二四
											工學部	一三
											農學部	三
											法文學部	四
											合計	八七
											選	七
											選專	二

三重	愛知	靜岡	岐阜	長野	山梨	福井	石川	富山	道府縣別		學部別	
									學生	生徒	學生	生徒
									大學院	一	三	一
									醫學部	三	五	二
									工學部	二	四	二
									農學部	二	三	二
									法文學部	七	三	二
									合計	一五	五〇	一九
									選	二	二	二
									選專	一	二	一

○各學部學生年齡別

(昭和三年五月調)

部 科	醫學部							種 別	最 高 生 年 平 均	
	昭和二年入學	大正十五年入學	大正十四年入學	大正十三年入學	大正十二年入學	大正十一年入學	大正十年入學			
								最高	最低	平均
	三、七	二、一	二、六	三、二	二、六	二、〇	一	二、九	二、三	二、六
	一、七	三、〇	三、二	二、二	二、二	二、二	一	二、三	一、三	二、五
	三、七	三、七	三、二	二、七	二、九	二、五	一	二、六		

○各學部學生年齡別

電	工					土木				昭和三年入學
	學	工	械	機	學	工	木	土		
大正十二年入學	昭和三年入學	昭和二年入學	大正十五年入學	大正十四年入學	大正十三年入學	昭和三年入學	昭和二年入學	大正十五年入學	大正十四年入學	昭和三年入學
二、五	二、八	二、五	二、五	二、九	二、七	二、〇	二、七	二、四	二、一	二、〇
二、五	一、五	二、〇	三、一	二、九	二、七	一、八	二、〇	三、〇	三、八	一、三
二、五	三、〇	三、一〇	三、七	二、七	二、七	三、一〇	三、八	三、〇	三、七	三、四

種										別	最 高 學 年	最 低 年	平 均 年 齡
學 工 氣					學 用 化 應								
昭 和 三 年 入 學	昭 和 二 年 入 學	大 正 十 五 年 入 學	大 正 十 四 年 入 學	大 正 十 三 年 入 學	昭 和 三 年 入 學	昭 和 二 年 入 學	大 正 十 五 年 入 學	大 正 十 四 年 入 學	大 正 十 三 年 入 學	大 正 十 三 年 入 學	一	一	一
三、三	三、二	三、四	三、九	三、〇	三、五	三、四	三、六	三、〇	三、〇	三、一	一、三	一、三	一、三
一、二	一、〇	三、三	三、五	三、〇	一、三	三、〇	三、五	三、〇	三、〇	三、一〇	一	一	一
三、六	三、二	三、七	三、七	三、〇	三、〇	三、二	三、七	三、〇	三、〇	三、三	一	一	一

四八二

部										種	別	最 高 學 年	最 低 年	平 均 年 齡
學 船 造			學 金 冶				學 續 採							
昭 和 二 年 入 學	大 正 十 五 年 入 學	大 正 十 四 年 入 學	大 正 十 三 年 入 學	昭 和 三 年 入 學	昭 和 二 年 入 學	大 正 十 五 年 入 學	大 正 十 四 年 入 學	昭 和 三 年 入 學	昭 和 二 年 入 學	大 正 十 五 年 入 學	一	一	一	
三、二	三、三	三、五	三、二	三、〇	三、三	三、〇	三、一	三、六	三、一	三、九	一	一	一	
三、〇	三、九	三、五	三、二	三、〇	三、三	三、九	三、一	三、八	三、六	三、三	一	一	一	
三、一〇	三、一	三、五	三、七	三、一	三、一	三、一〇	三、一	三、三	三、四	三、八	一	一	一	

○各學部學生年齡別

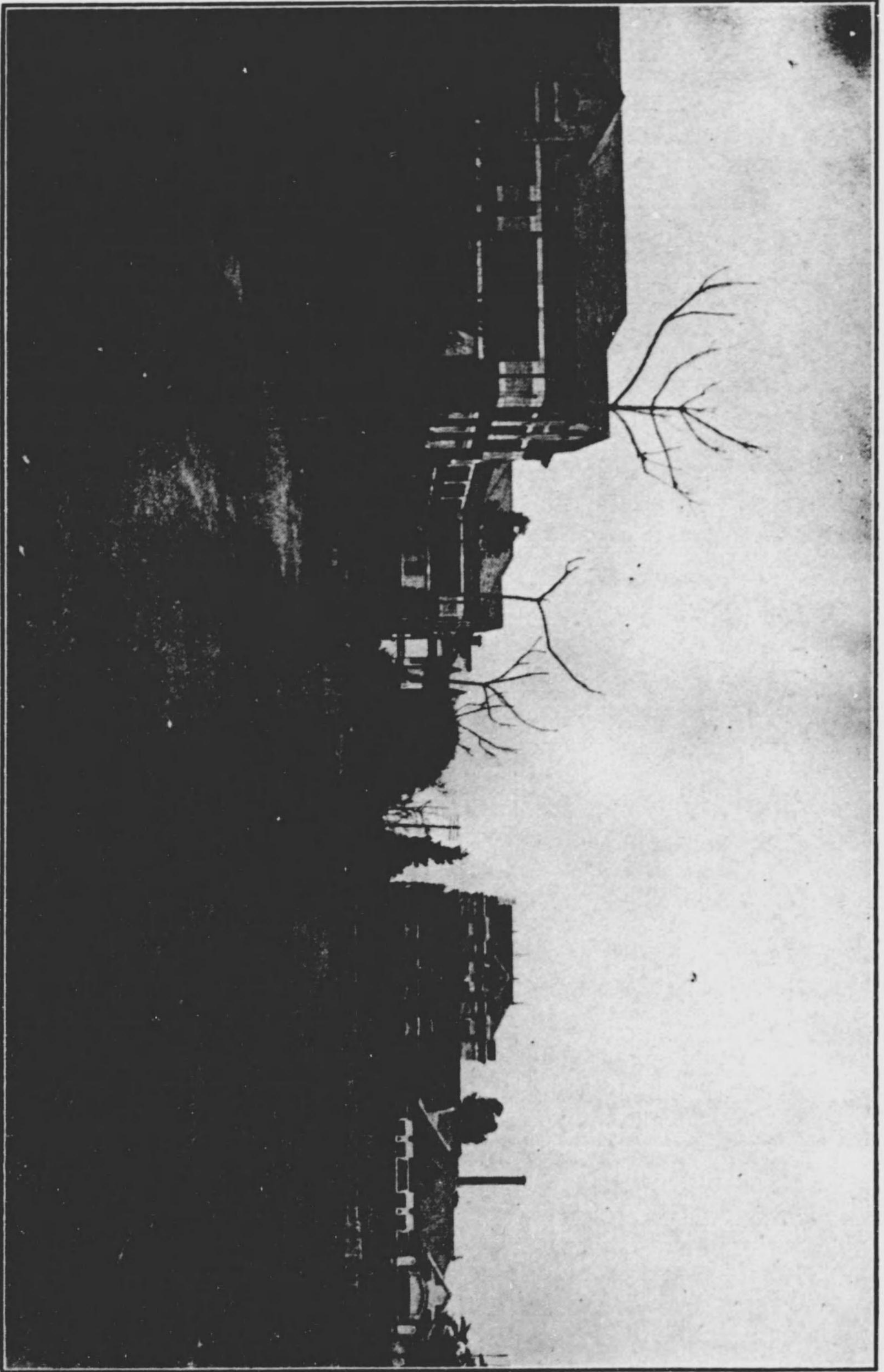
四八三

九州帝國大學一覽終

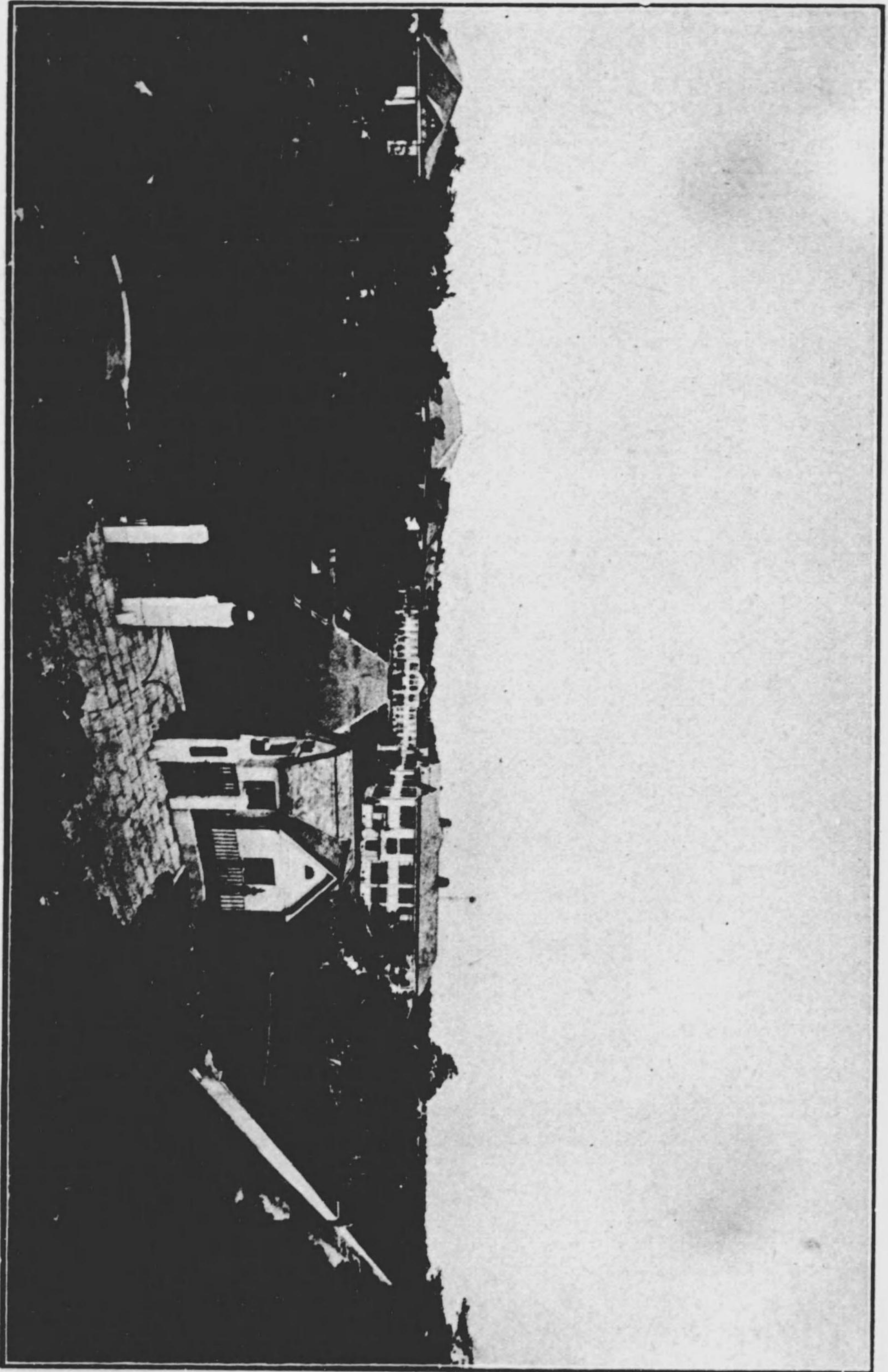
○各學部學生年齡別

部 學 文 法				部			
部	學	文	法	科	學	林	科學
昭和三 年入學	昭和二 年入學	大正十五 年入學	大正十四 年入學	昭和三 年入學	昭和二 年入學	大正十五 年入學	昭和三 年入學
三、一	四、一	四、一	三、五	三、二	三、五	三、三	三、六
一八、八	三〇、三	三、二	三、二	一九、六	三、六	三、七	一九、一
三、六	三、九	三、一〇	三、九	三、七	三、〇	三、三	三、九

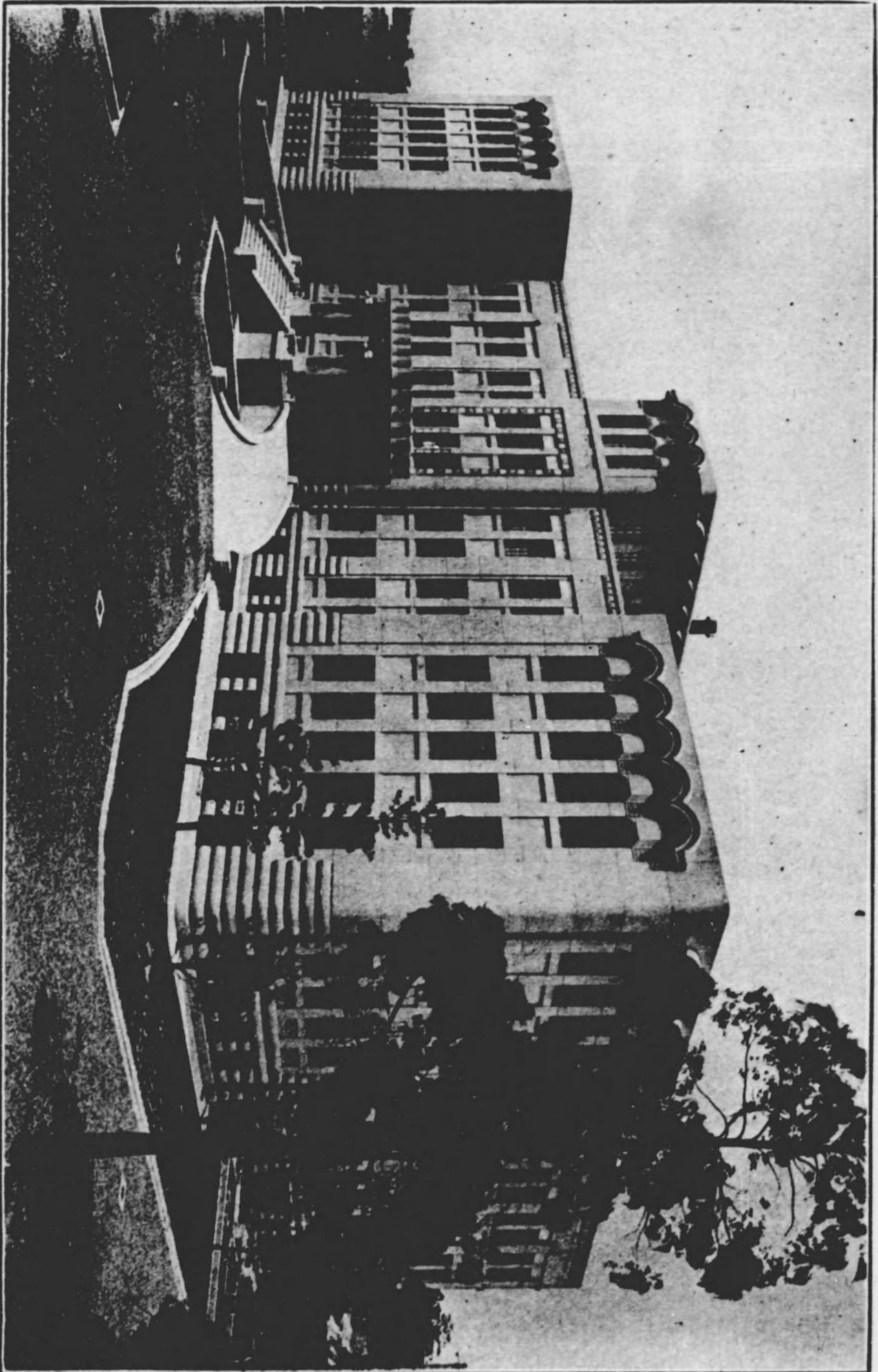
學 農								種	別
化	藥	農	科		學		農		
昭和二 年入學	大正十五 年入學	昭和三年 入學	昭和二年 入學	大正十五 年入學	大正十四 年入學	大正十三 年入學	大正十二 年入學	大正十一 年入學	昭和三年 入學
三、九	三、六	三、四	三、七	三、六	三、〇	三、〇	三、一	三、五	三、二
三、三	三、四	三、五	三、四	三、四	三、四	三、〇	三、一	三、五	三、六
三、〇	三、九	三、七	三、七	三、二	三、四	三、〇	三、一	三、五	三、一



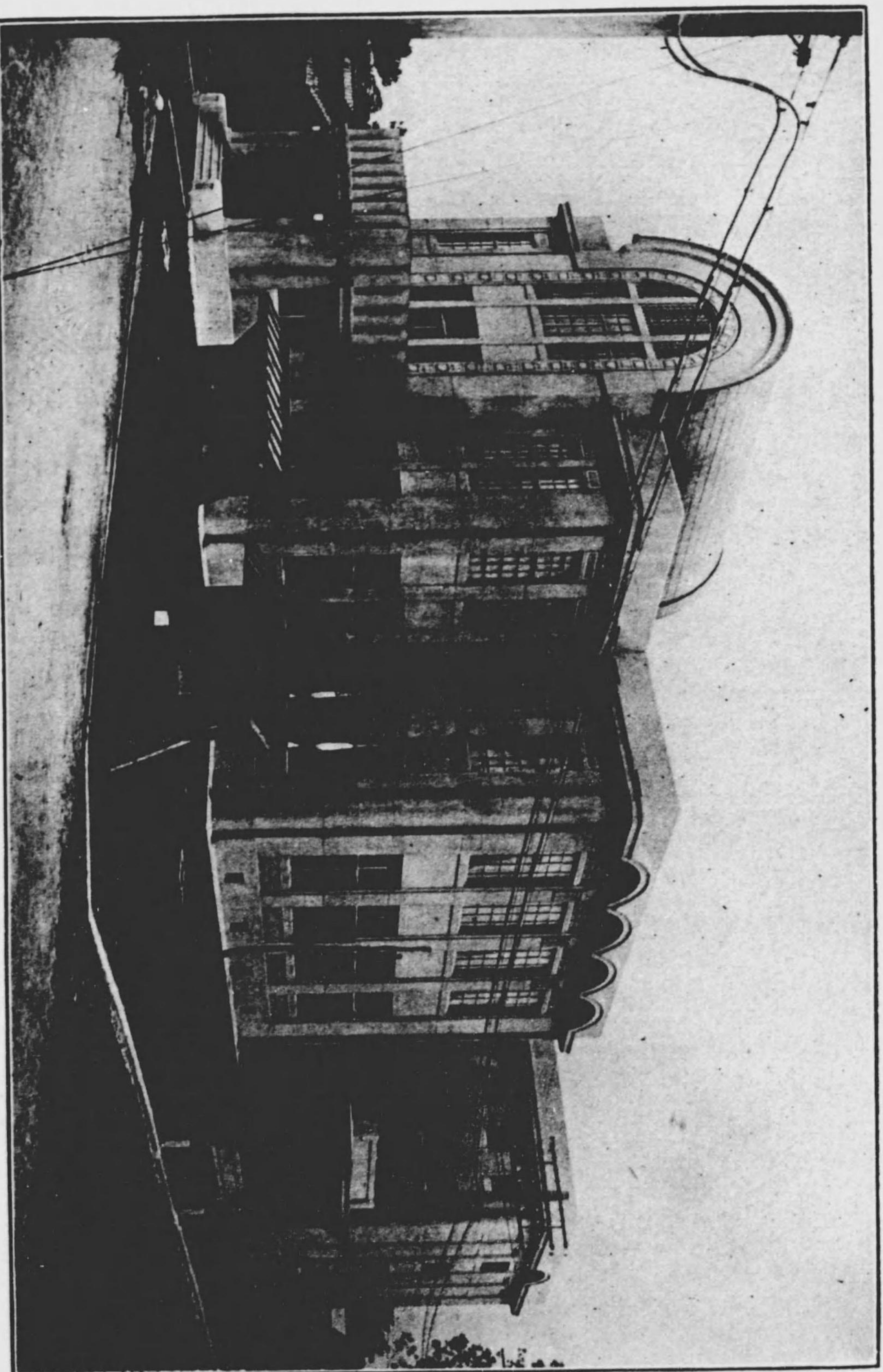
九州帝國大學工學部



九州帝國大學農學部

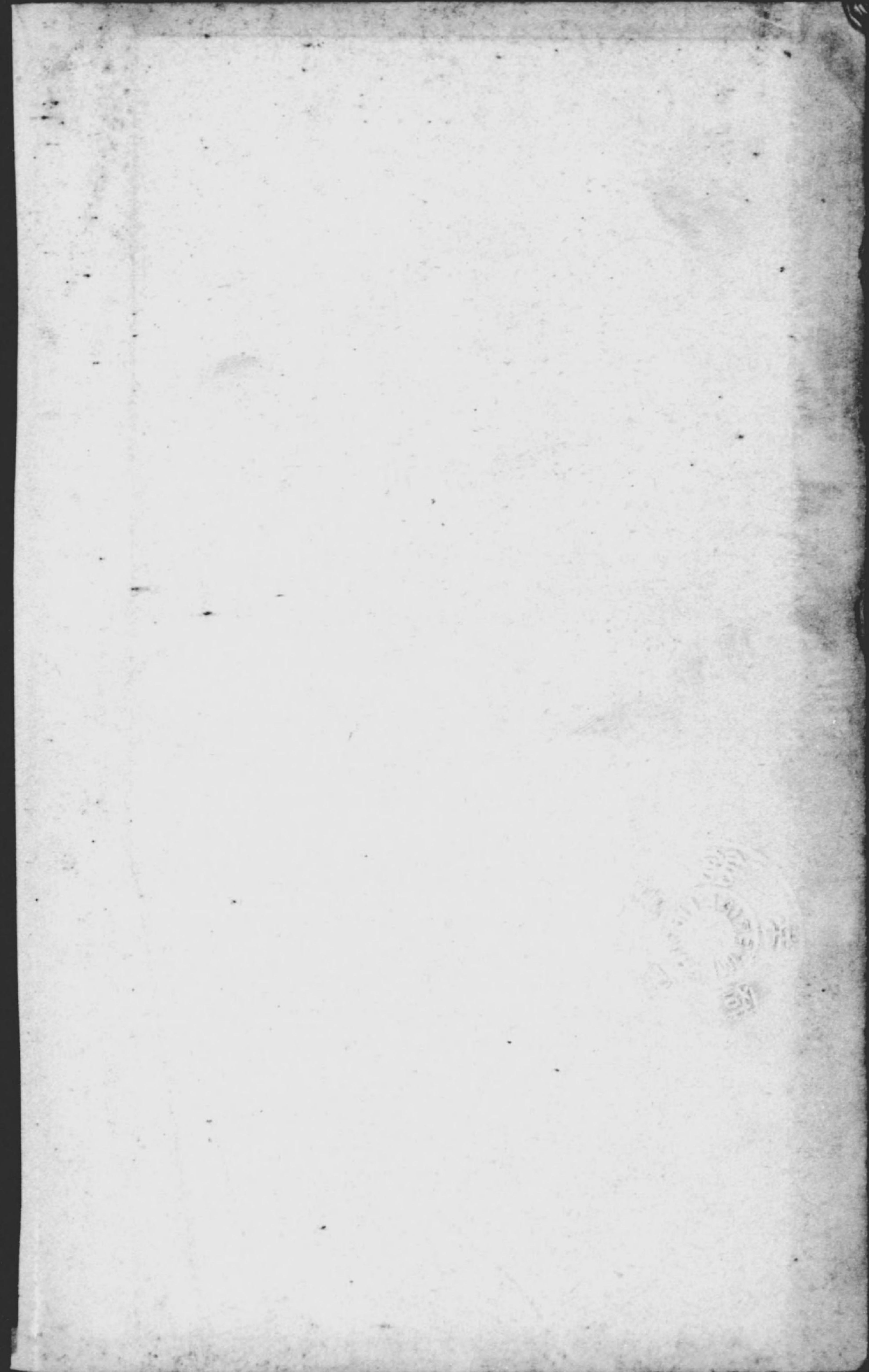
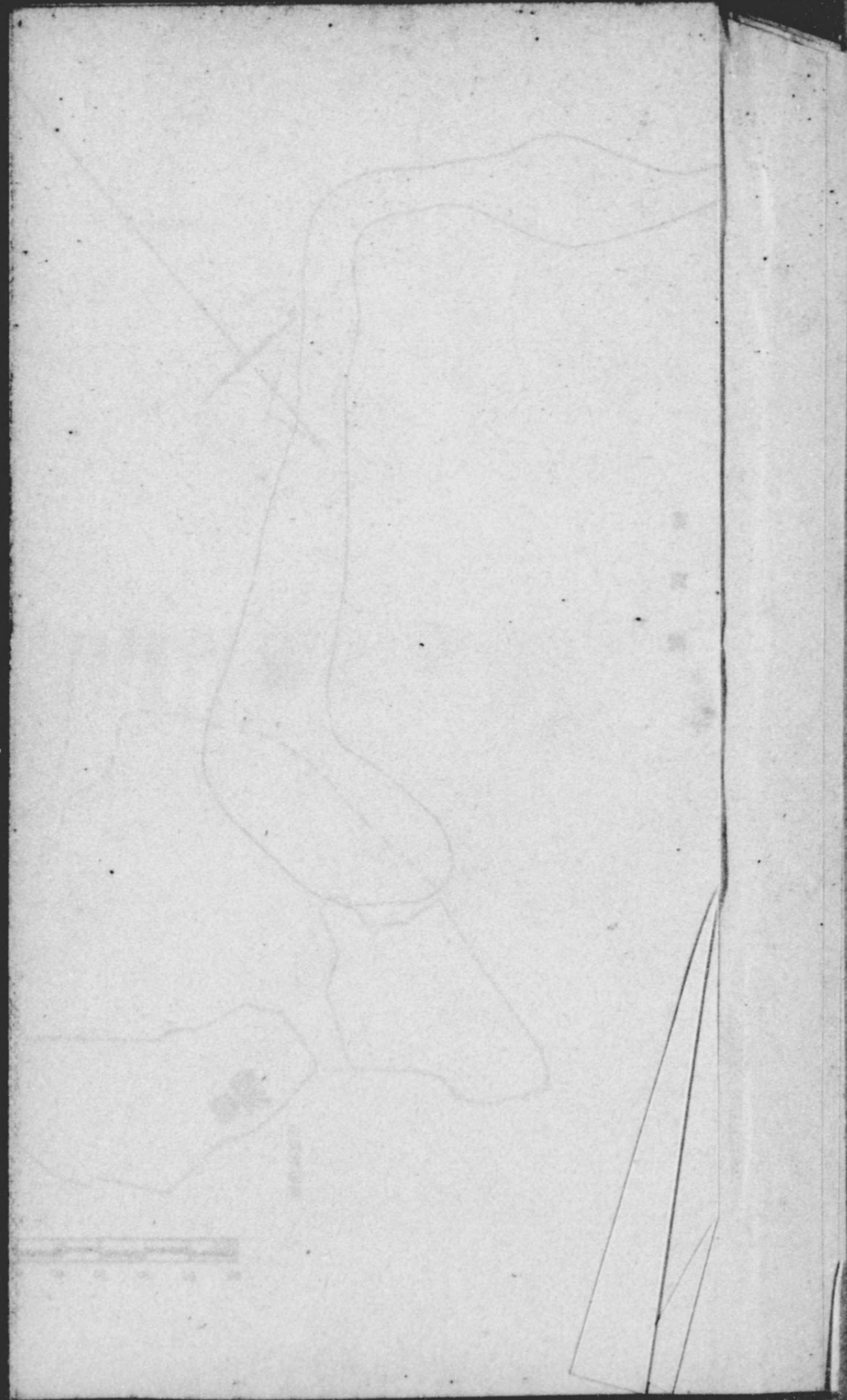


九州帝國大學法文學部



九州帝國大學附屬圖書館

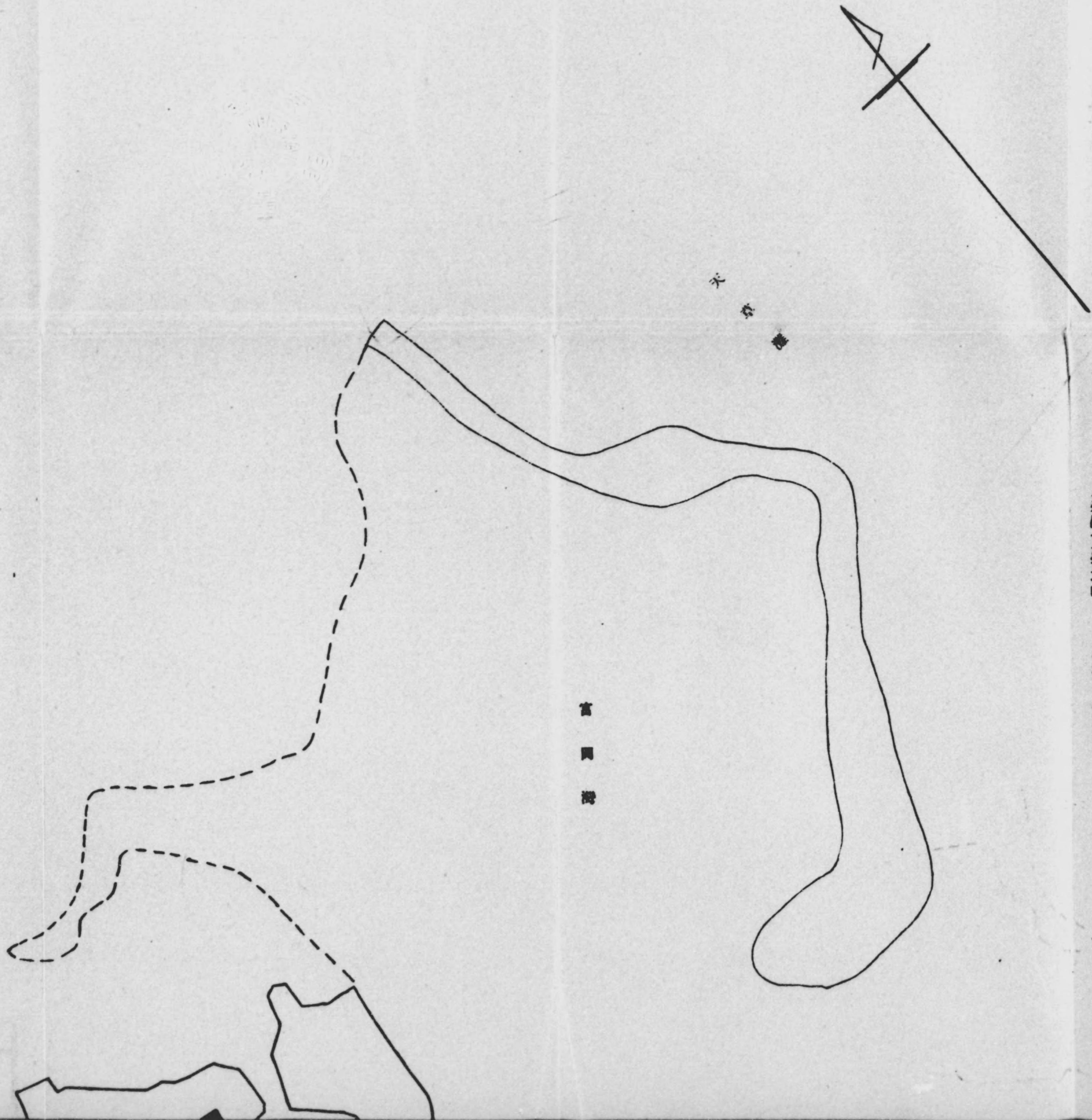




九州帝國大學附屬天草臨海實驗所平面圖

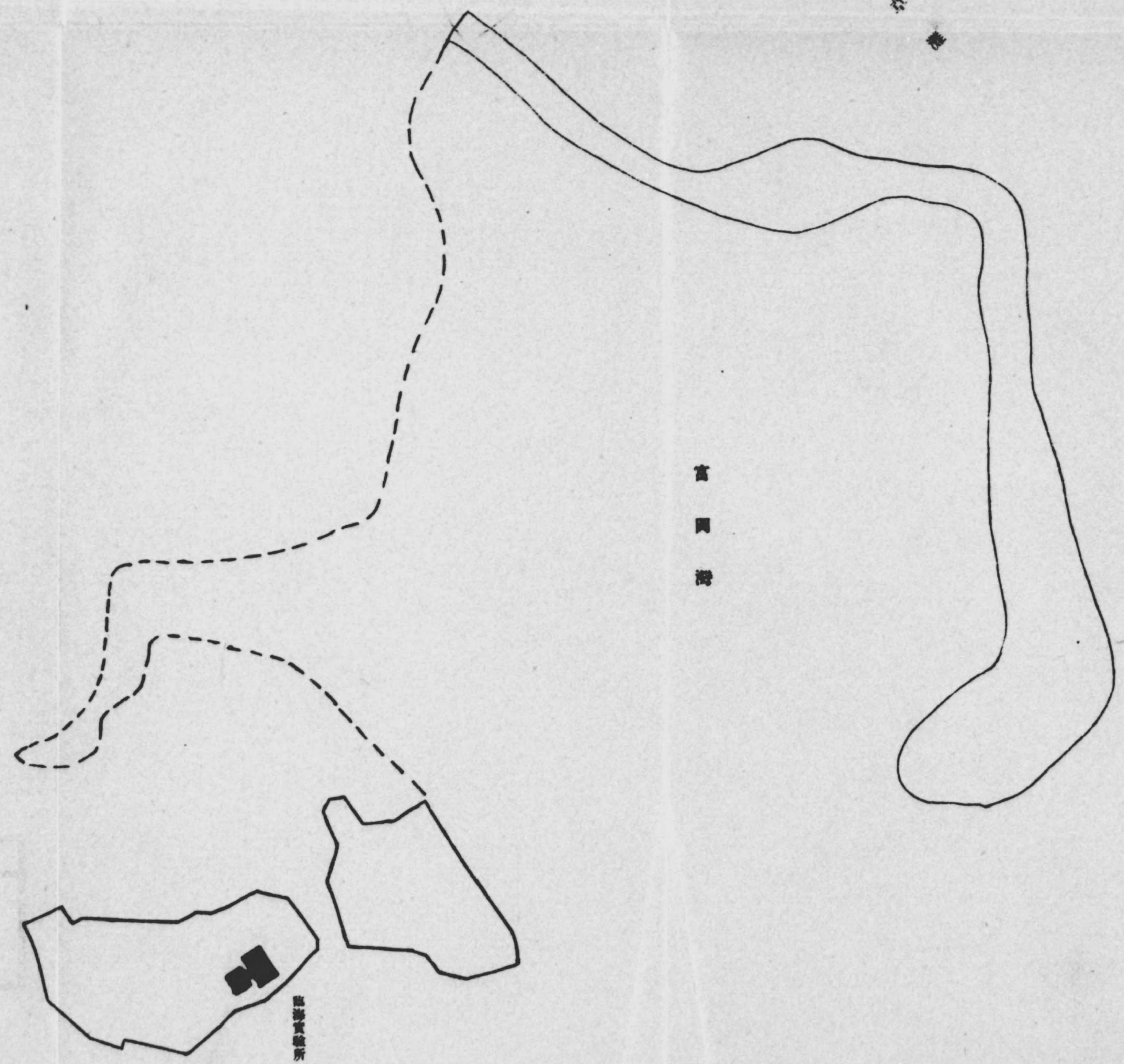
敷地面積 壹萬八千八百參拾八坪
建物「建坪」 五拾六坪餘

例 凡
— 建物



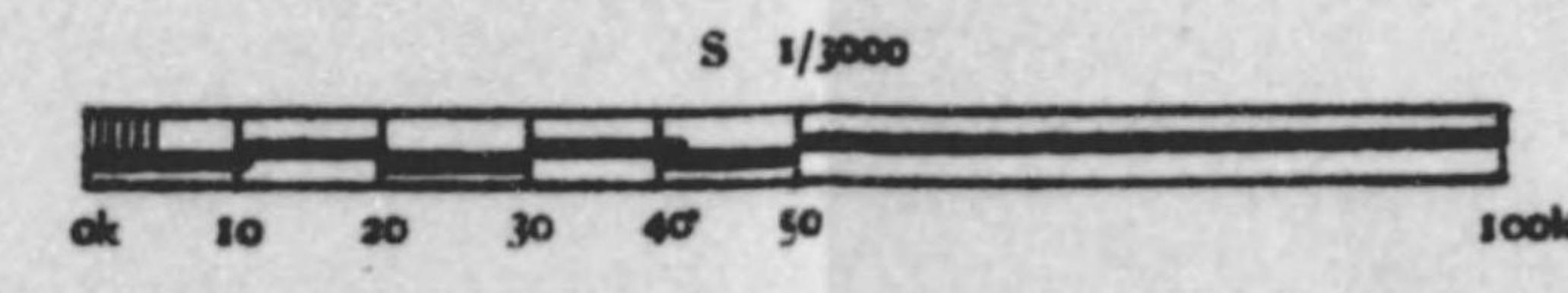
九州帝國大學附屬天草臨海實驗所平面圖

敷地面積 壹萬八千八百參拾八坪
建物「建坪」 五拾六坪餘



例凡

—
建物



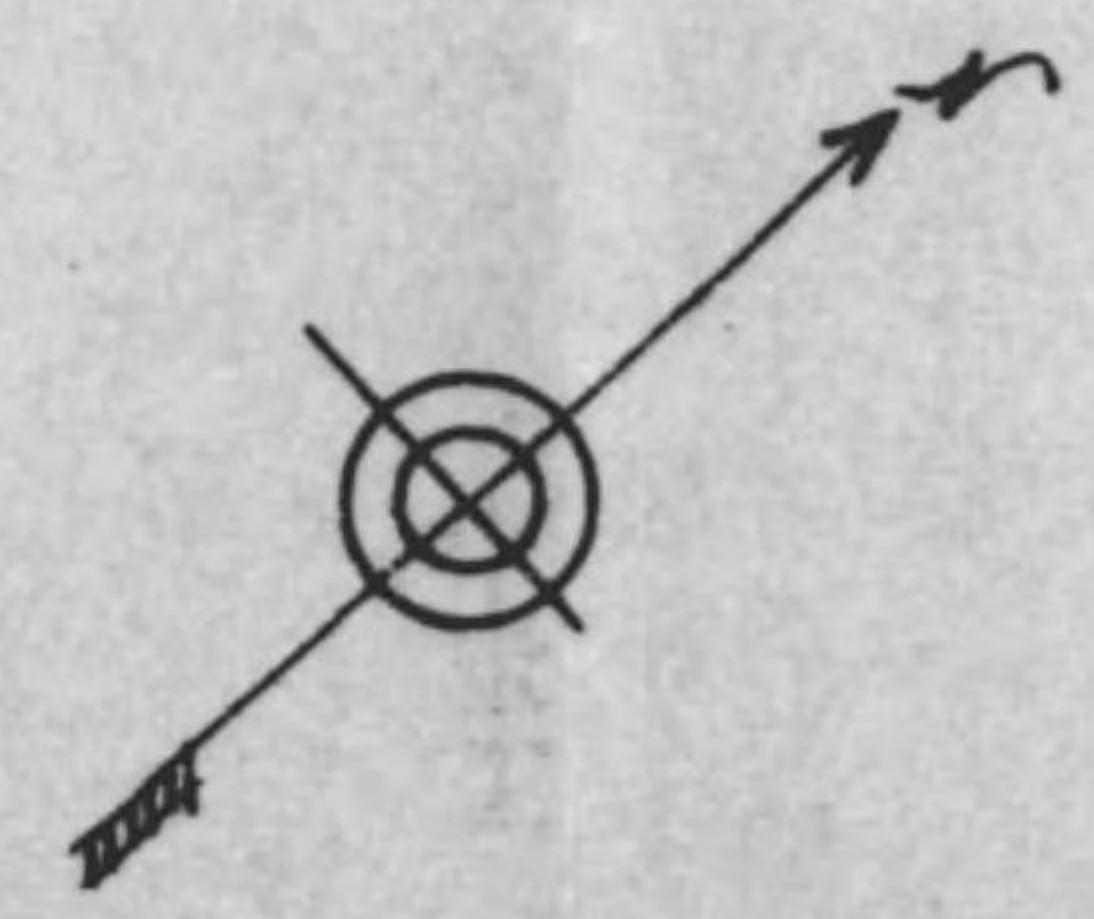
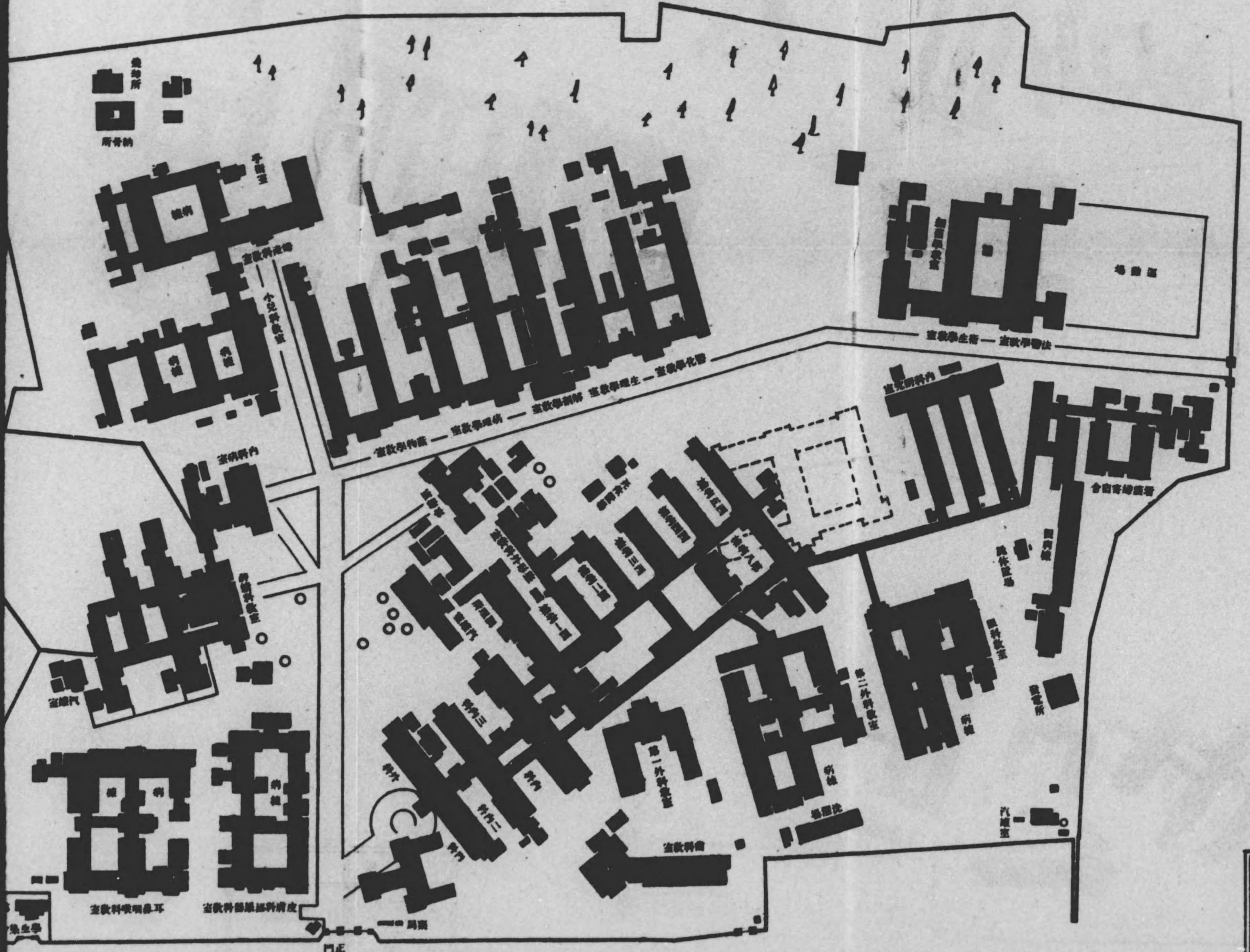


天草藩圖大學湖園天草藩實錄圖平面圖

皇曆一千七百八十一年
 皇曆一千七百八十一年



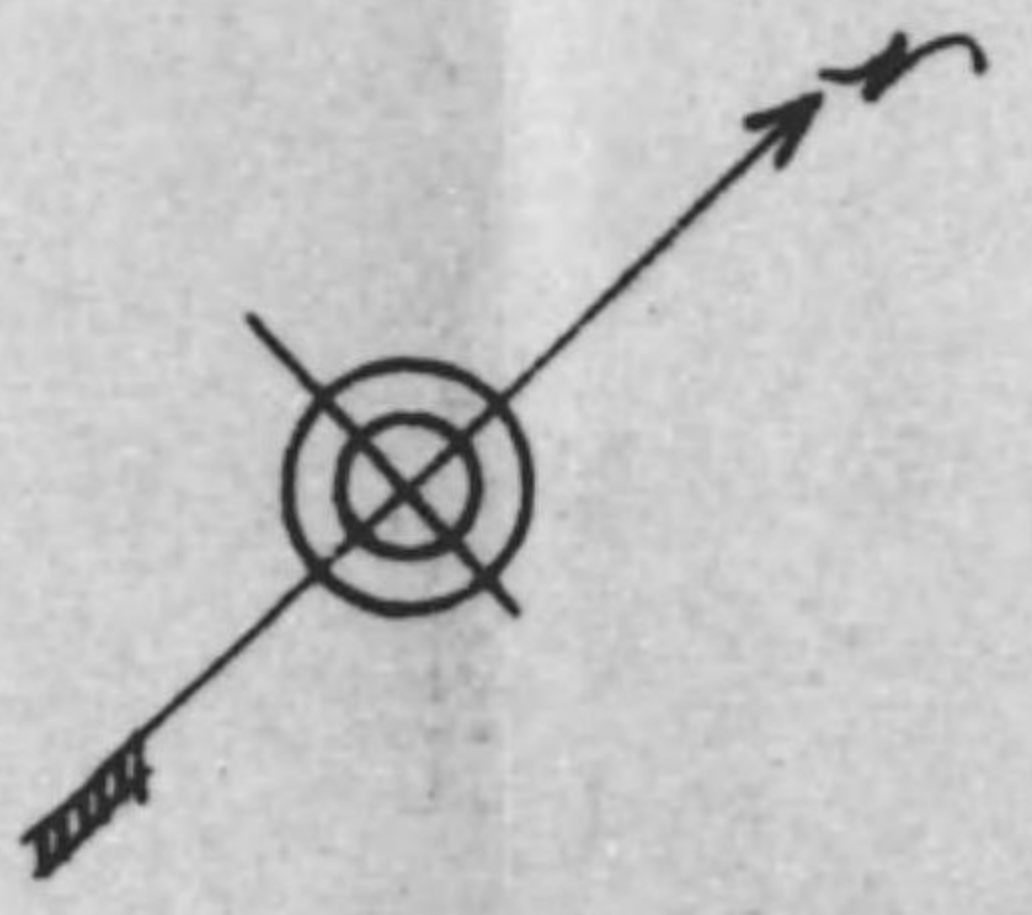
九州帝國大學醫學部及附屬醫院並第一學生集會所平面圖



地坪 八萬六千八百八坪餘
 建坪 壹萬九千四百四坪餘

煉瓦造 七百參拾八坪餘
 木造 壹萬七千五百六拾九坪餘內拾五坪土造
 鐵筋コンク 八百參拾七坪餘
 鐵筋コンク 千百五拾貳坪餘
 工事中ニ屬スルモノ

例凡	例凡
┌───┐ │ 工事中 └───┘	■ 建物



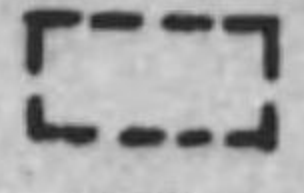

地坪 八萬六千八百八坪餘
 建坪 壹萬九千四百四坪餘
 煉瓦造 七百參拾八坪餘
 木造 壹萬七千五百六拾九坪餘
 鐵筋コンクリート造 八百參拾七坪餘
 工事中ニ屬スルモノ
 鐵筋コンクリート造 千百五拾貳坪餘

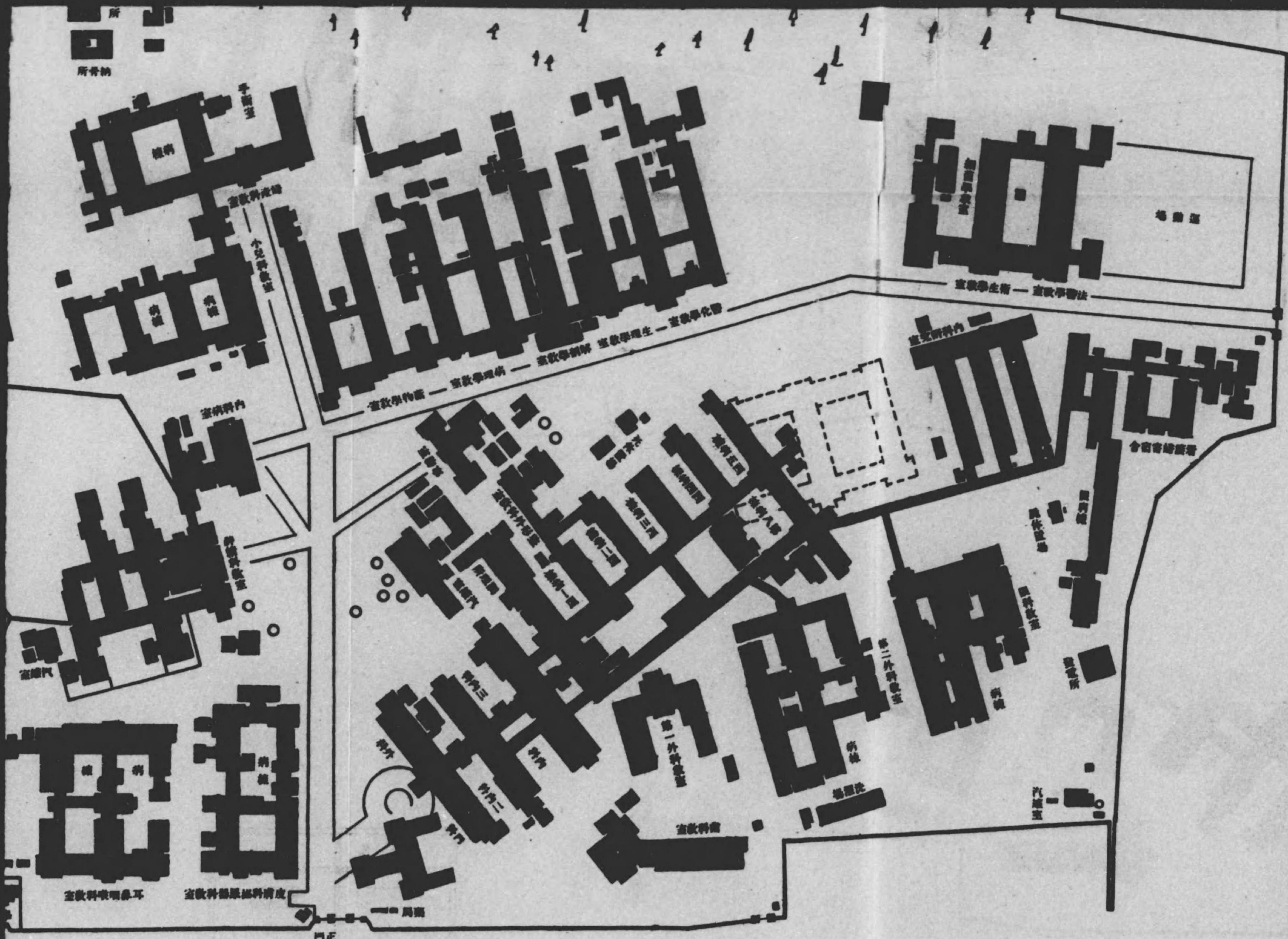
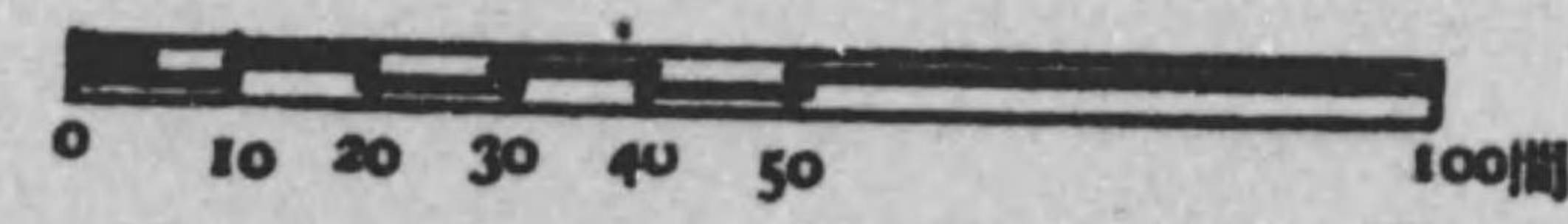
例 凡	例 凡
工事中	建物

九州帝國大學醫學部及附屬醫院並ニ第一學生集會所平面圖

地坪 八萬六千八百八坪餘
 建坪 壹萬九千四百四坪餘

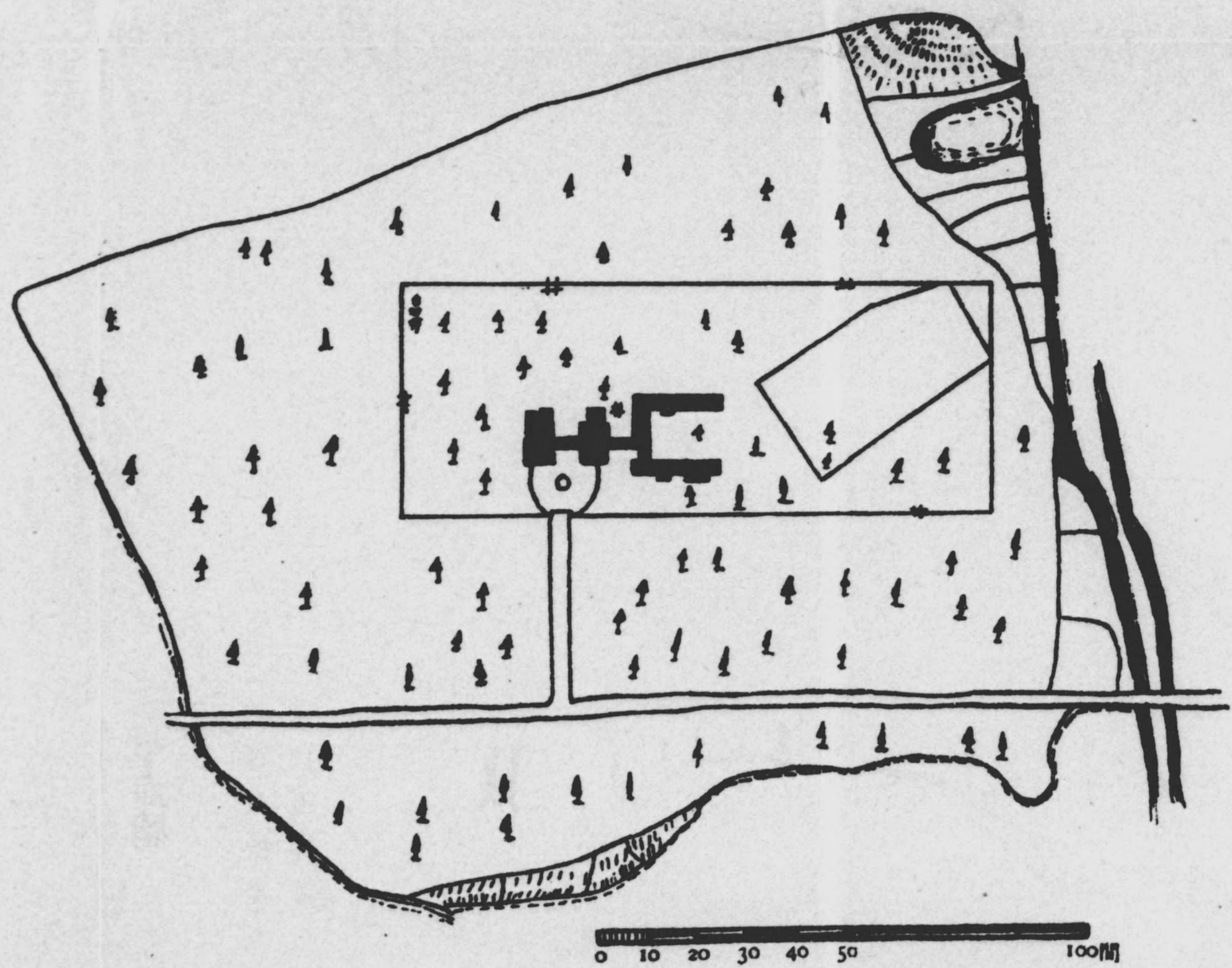
煉瓦造 七百參拾八坪餘
 木造 壹萬七千五百六拾九坪餘內拾五坪土造
 鐵筋コンクリート造 八百參拾七坪餘
 工事中ニ屬スルモノ
 鐵筋コンクリート造 千百五拾貳坪餘

例凡	例凡
	
工事中	建物



九州帝國大學醫學部附屬醫院生ノ松原分院平面圖

地坪 四千六百八拾坪
建坪 貳百六拾五坪餘



九州帝國大學工學部法文學部平面圖

工學部

地坪 六萬坪餘
建坪 六千九百九拾六坪餘

內

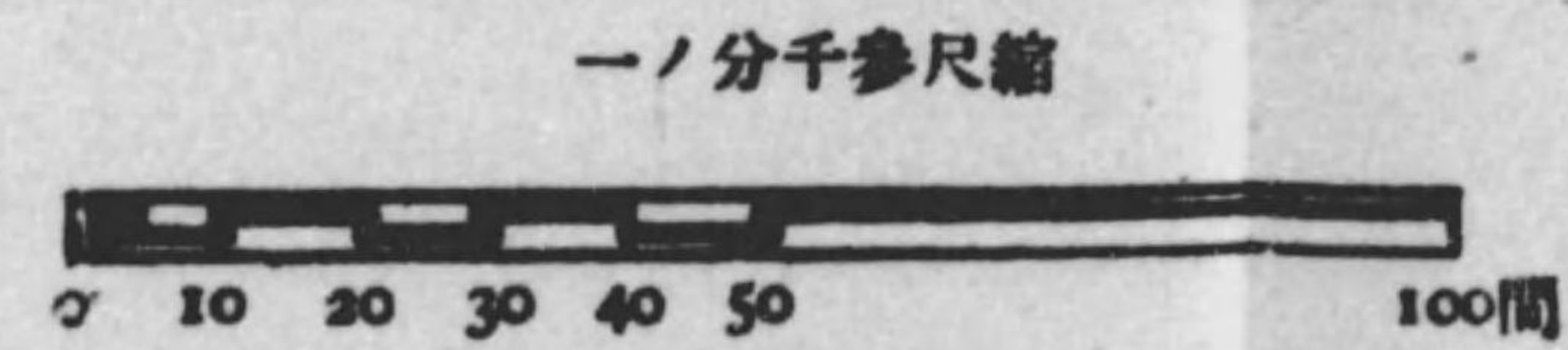
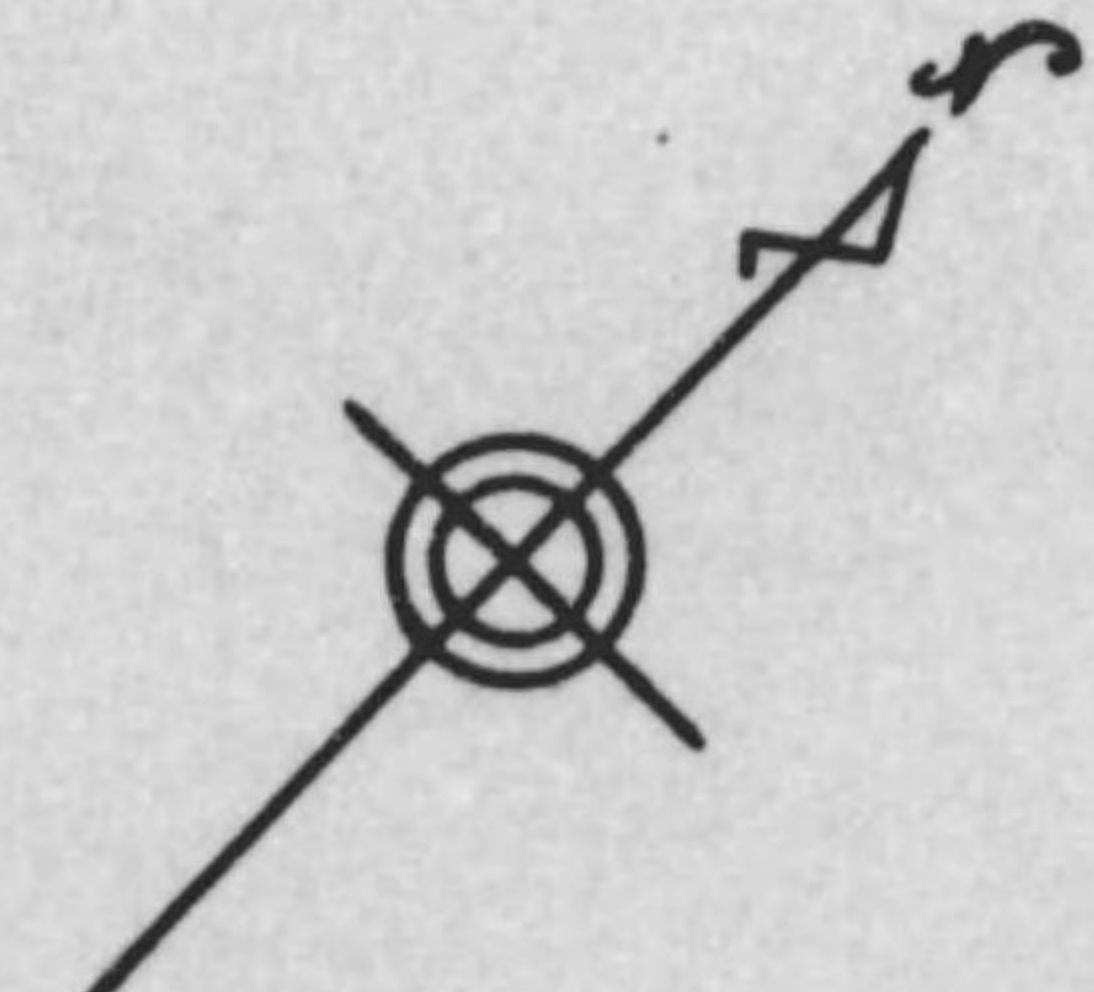
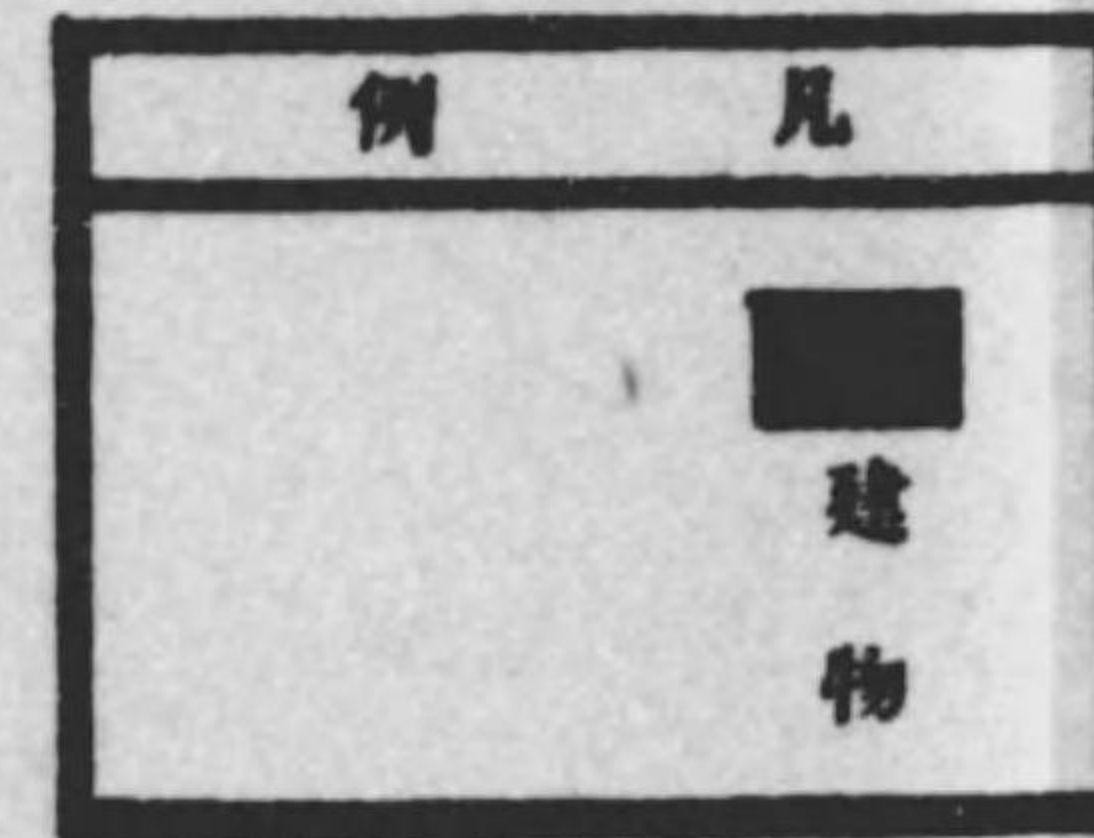
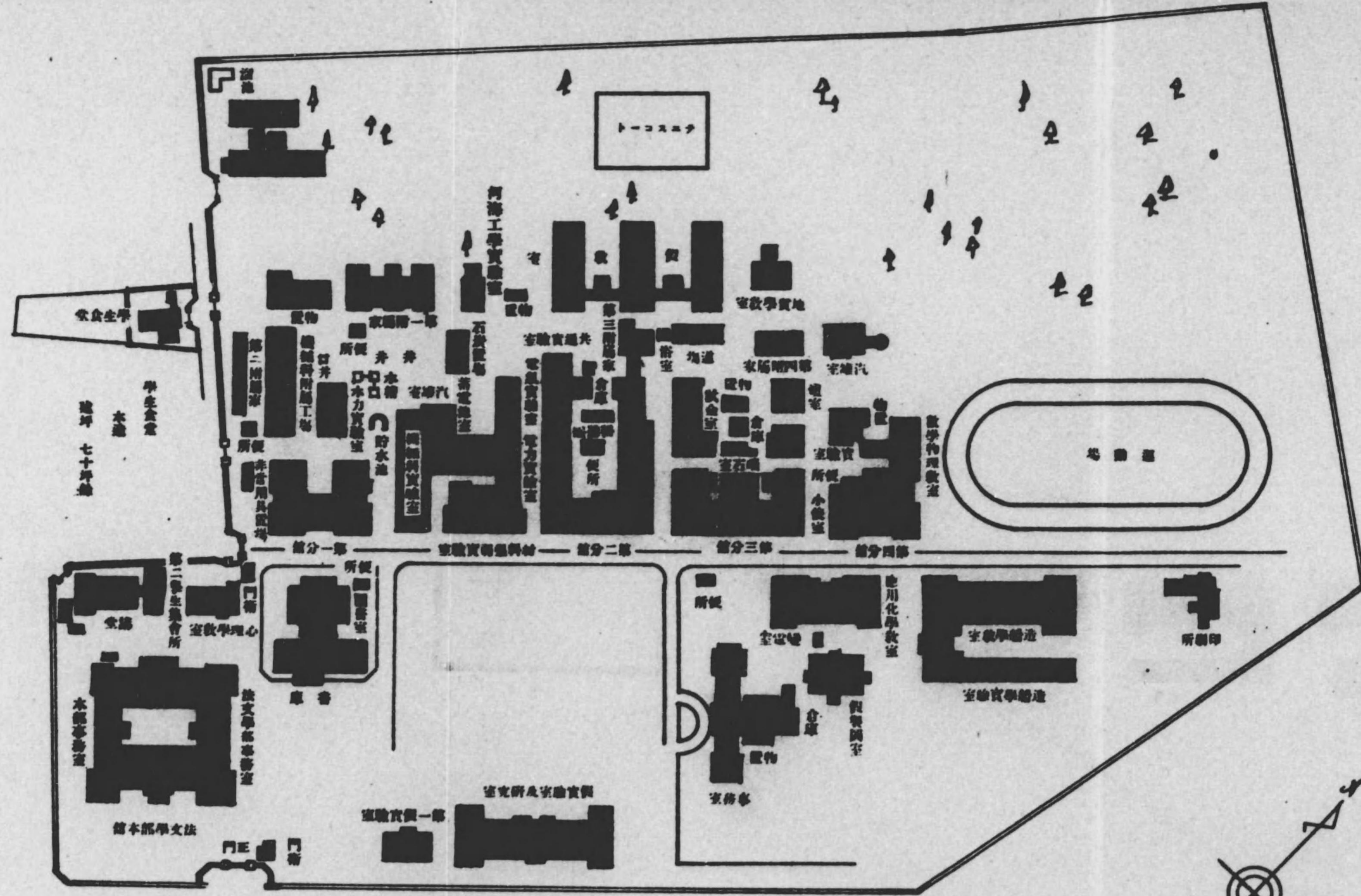
煉瓦造 貳千四百參拾貳坪餘
鐵筋コンク
リート造 參百壹坪餘
木造 參千四百六拾參坪餘

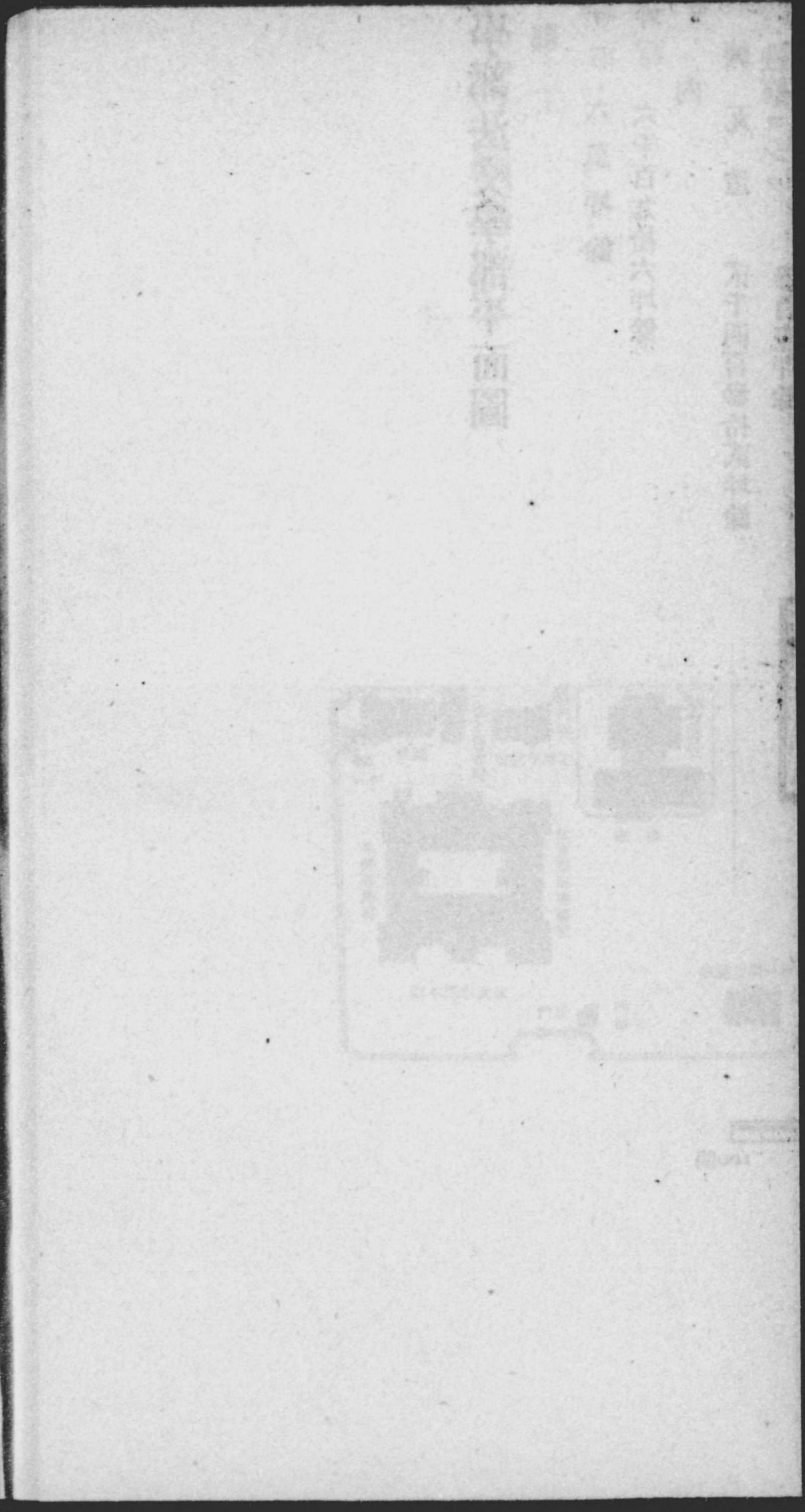
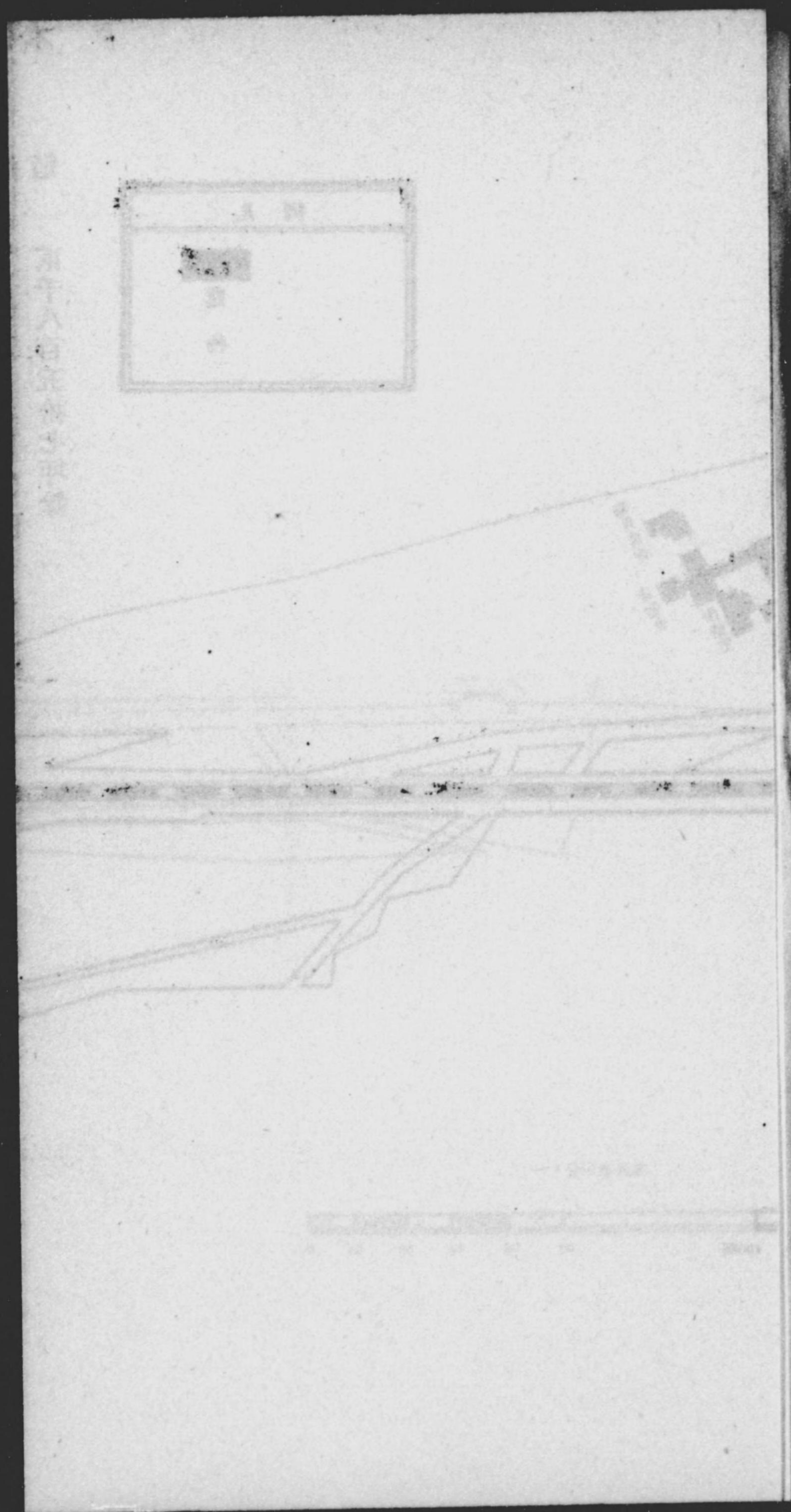
法文學部

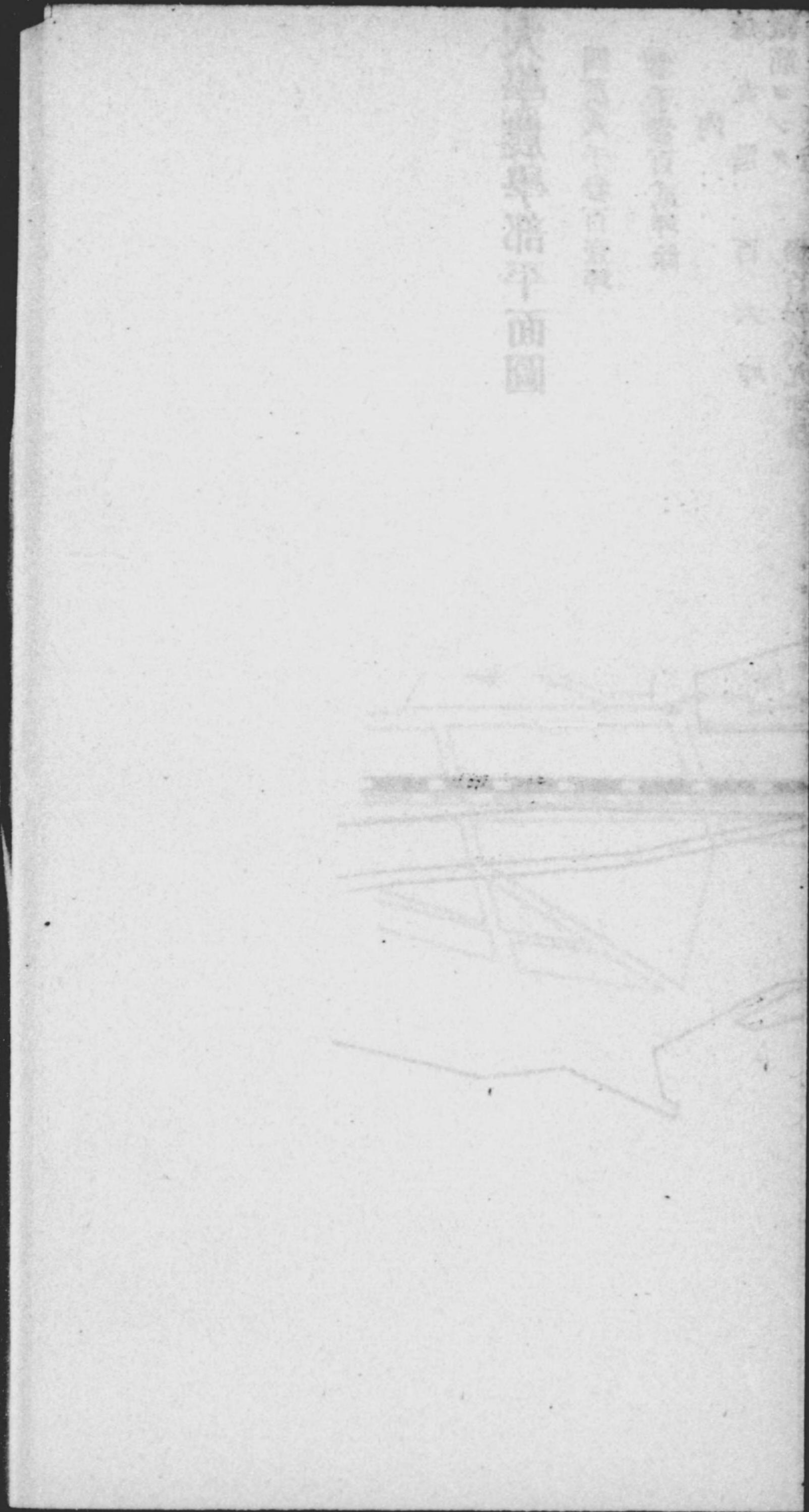
地坪 參千四百七拾四坪餘
建坪 壹千百拾七坪餘

內

鐵筋コンク 八百拾四坪餘
リート造 參百〇參坪餘
同上







大正十一年三月

大正十一年三月

大正十一年三月

大正十一年三月

大正十一年三月

州帝國大學農學部附屬農場全圖

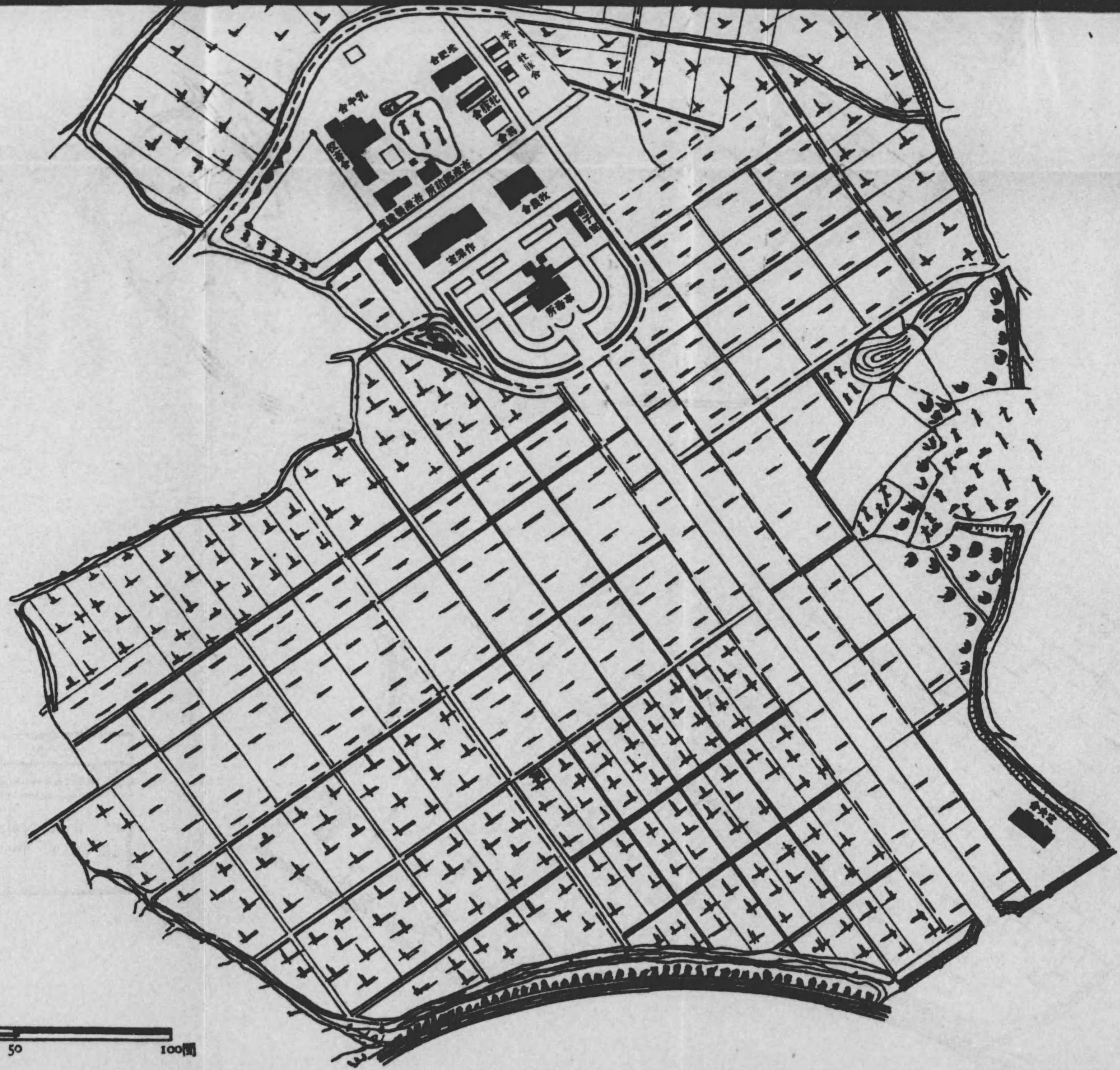
地 坪 八萬五百四坪餘
建 坪 八百八拾貳坪餘

鐵筋ブロック造 參拾貳坪餘

木 造 八百壹坪餘

鐵筋コンクリート造 四拾九坪餘
屋根鐵筋硝子張

例 凡				
田	池	水	林	物



0 10 20 30 40 50 100間

第八臨時教員養成所一覽

昭和三年

6

第八臨時教員養成所一覽 (昭和三年)

目 錄

○沿革略

一

○臨時教員養成所ニ關スル法令

臨時教員養成所官制

二

臨時教員養成所規程

三

臨時教員養成所管理者職務規程

七

臨時教員養成所名稱及學科

七

○職 員

第八臨時教員養成所職員

一

○第八臨時教員養成所規則

第一章 學科、學科課程及修業年限

二

第二章 學年、學期及休業

五

目 錄

第三章	定員、入學、在學及學費	一六
第四章	退學	一九
第五章	懲戒	二〇
第六章	卒業	二〇
第七章	服務義務	二一
第八章	學費及授業費償還	二一
○第八臨時教員養成所生徒學費支給規程		
○生徒姓名		
○卒業生姓名		
○附・表		
生徒卒業生表		
生徒府縣別調		
生徒入學志願者及入學者入學前教育別表		
生徒年齢別表		
		二八
		二八
		二七
		二一
		二一
		二〇
		二〇
		一九
		一六

○沿革略

本所ハ大正十二年四月五日文部省告示第二百六十三號ヲ以テ九州帝國大學内ニ第八臨時教員養成所トシテ數學科、物理化學科ヲ置カレ同月ヨリ開始スルコトトナレリ同時ニ臨時教員養成所官制ニ據リ九州帝國大學總長眞野文二之カ管理者トナル同年同月本所規則ヲ制定ス

十二年

五月 生徒各三十名ヲ收容シ授業ヲ開始ス

十四年

三月 生徒學費支給規程中改正ス。第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス

四月 數學科生徒三十七名ヲ收容ス

九月 本所規則ヲ改正ス

十五年

三月 總長眞野文二願ニ依本官ヲ免セラレ後任總長大工原銀太郎之カ管理者トナル

○沿革略

昭和二年

三月 第二回卒業證書授與式ヲ舉行ス
四月 數學科生徒三十名ヲ收容ス
十月 本所規則中ヲ改正ス

○臨時教員養成所ニ關スル法令

勅令第百號 明治三十五年(明治三十六年一月勅令第二三二號同)
三月二十七日(三十九年三月勅令第四二號ヲ以テ改正)

臨時教員養成所官制

- 第一條 臨時教員養成所ハ師範學校、中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
- 第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學及直轄諸學校内ニ之ヲ置ク
- 第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ管理セシム

第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク

教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル
書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

文部省令第八號 明治三十五年(明治四十一年省令第三三號同)
三月二十九日(大正七年省令第七號同)
(省令第四十一號第一六號ヲ以テ改正)

臨時教員養成所規程

第一條 臨時教員養成所ニハ國語、漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、體操、家事科、理科、家事科、歴史地理科、理科、音樂科、體操科ノ一學科若ハ數學科ヲ置

ク

第二條 前條各學科ノ修業年限ハ二年乃至三年トス

第三條 國語漢文科ノ學科目ハ修身教育、國語、漢文、言語學、歷史、地理、英語(隨意科目)體操トス

第四條 英語科ノ學科目ハ修身教育、英語、國語及漢文、言語學、體操トス

第五條 數學科ノ學科目ハ修身教育、數學、物理、簿記、英語、體操トス

第六條 博物科ノ學科目ハ修身教育、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、英語、體操トス

第七條 物理化學科ノ學科目ハ修身教育、物理、化學、數學、圖畫及手工、英語、體操トス

第七條ノ二 家事裁縫科ノ學科目ハ修身教育、家事、裁縫、國語、應用理科、手藝、圖畫、體操トス

第七條ノ三 體操家事科ノ學科目ハ修身教育、家事、體操、理科、圖語、音樂トス

第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身教育、理科、家事、數學、體操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ五 歷史地理科ノ學科目ハ修身教育、歷史、地理、法制及經濟、英語、體操トス

第七條ノ六 理科ノ學科目ハ修身教育、物理、化學、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、體操トス

操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身教育、唱歌、器樂、オルガン又ハピアノ(國語、音樂通論、和聲論、音樂史、英語(隨意科目)トス

第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身、體操、柔道又ハ劍道、生理及衛生、英語(隨意科目)トス

第八條 各學科ノ修業年限及各學科ノ每週教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ハ分テ三學期トシテ

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月

三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

休業日ニ關スル規程ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四箇年

ノ高等女學校卒業程度ニ依リテ之ヲ行フ但シ中學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限リ時宜ニ因リ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十一條ノ二 管理者ニ於テ特別ノ必要アリト認メタルトキハ當分ノ内家事裁縫科ニ限リ其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試験檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ得

前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ承ケ管理者之ヲ定ムヘシ

第十二條 各學年ノ課程ノ終了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

但シ管理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ己ムヲ得サル事由ニ

因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限リニアラス

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

文部省訓令號外 明治三十五年三月二十八日

臨時教員養成所管理者職務規程

臨時教員養成所管理者職務規程ハ當該直轄學校長ノ職務規程ヲ準用ス

臨時教員養成所名稱及學科

名	稱	學科	告 示 摘 要
		國語 漢文科 英語 漢文科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ

○臨時教員養成所ニ關スル法令 臨時教員養成所名稱及學科

第一臨時教員養成所 (東京高等師範學校內)	數 博 學 物 理 地 史 操 體 史 操 理 科 科 科 科	以テ設置 十二年四月告示第二百六十四號ニテ增置
第二臨時教員養成所 (廣島高等師範學校內)	國 英 語 語 漢 漢 文 文 科 科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置、十二年四月告示第二百六十四號ヲ以テ增置
第三臨時教員養成所 (奈良女子高等師範學校內)	數 理 學 學 科 科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置
第四臨時教員養成所 (東京音樂學校內)	音 樂 科 科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置
第五臨時教員養成所	英 語 科 科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置

(大阪外國語學校內)	歷 史 地 理 科 科	大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ增置
第六臨時教員養成所 (東京女子高等師範學校內)	家 體 事 操 裁 家 縫 家 科 事 科 事 科 事 科 事	明治三十九年四月文部省告示第八十三號ヲ以テ設置、四十二年告示第四十號大正七年告示第二十八號十年告示第四百二十二號十一年告示第二百四十五號ヲ以テ改正
第七臨時教員養成所 (京都帝國大學內)	國 語 漢 文 科 科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第八臨時教員養成所 (九州帝國大學內)	數 學 物 理 化 學 科 科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第九臨時教員養成所 (東北帝國大學內)	數 學 物 理 化 學 科 科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置

○臨時教員養成所ニ關スル法令 臨時教員養成所名稱及學科

第十臨時教員養成所 (第四高等學校内)	物理化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第十一臨時教員養成所 (濱松高等工業學校内)	數學科 物理化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第十二臨時教員養成所 (東京外國語學校内)	英語科	大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ設置
第十三臨時教員養成所 (第五高等學校内)	數學科	大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ設置
第十四臨時教員養成所 (小樽高等商業學校内)	英語科	大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ設置
第十五臨時教員養成所 (佐賀高等學校内)	歷史地理科	昭和二年三月文部省告示第三百三十五號ヲ以テ設置

○職員

第八臨時教員養成所

(昭和三年七月十日現在)

管理者

九州帝國大學總長 大工原 銀太郎

主事

(九州帝國大學教授) 桑 木 或 雄

教務科長

(九州帝國大學教授) 桑 木 或 雄

講師

(囑託順)

(主事、教務科長) 桑 木 或 雄

(福岡高等學校教授
兼九州帝國大學教授) 米 山 國 藏

(福岡高等學校教授) 光 安 弘

(九州帝國大學助教授) 佐 伯 功 介

(九州帝國大學教授) 松 濤 泰 巖

配屬將校

書記(兼)

九州帝國大學書記

關 四郎 治

(陸軍歩兵大尉)

細 川 豊 彦

(市立福岡商業學校教諭)

藤 野 隆 助

(福岡高等學校講師)

田 島 廉 壽

(福岡女子專門學校講師)

横 倉 廉 吉

(福岡高等學校教授)

白 川 精 一

(九州帝國大學教授)

大 島 直 治

(福岡高等學校教授)

渡 邊 扶 生

大 内 覺 之 助

○第八臨時教員養成所規則

第一章 學科學科課程及修業年限

第一條 本所ニ數學科及物理化學科ヲ置ク

第二條 數學科ノ學科目ハ修身教育、數學、物理、簿記、英語、獨逸語體操トス

第三條 物理化學科ノ學科目ハ修身教育、物理、化學、數學、圖畫及手工、英語、獨逸語體操トス

第四條 學科課程左ノ如シ

數學科課程表

學科目	學年	
	第一學年	第二學年
修身	實踐倫理	同上
教育	教育學	同上
數學	一五	一八
物理	物理學通論	同上
簿記	二	二
英語	簿記	同上
獨逸語	簿記	同上
體操	簿記	同上
圖畫	簿記	同上
手工	簿記	同上

○第八臨時教員養成所規則

學科目	學年	物理化學科課程表				計	體操	獨逸語	英語
		第一學年	第二學年	第三學年	時每週				
化學	第一學年	實講 驗義 四四	實講 驗義 四五	同	同	三〇	二	二	三
物理	第一學年	實講 驗義 四四	實講 驗義 四五	同	同	三〇	二	二	三
教育	第一學年	教育學	同上	同上	同上	三〇	二	二	三
修身	第一學年	實踐倫理	同上	同上	同上	三〇	二	二	三
計						三〇	二	二	三

學科目	學年	物理化學科課程表				計	體操	獨逸語	英語	圖書及手工	數學
		第一學年	第二學年	第三學年	時每週						
化學	第一學年	實講 驗義 四四	實講 驗義 四五	同	同	三二	二	二	三	三	
物理	第一學年	實講 驗義 四四	實講 驗義 四五	同	同	三二	二	二	三	三	
教育	第一學年	教育學	同上	同上	同上	三二	二	二	三	三	
修身	第一學年	實踐倫理	同上	同上	同上	三二	二	二	三	三	
計						三二	二	二	三	三	

○第八臨時教員養成所規則

備考 手工ノ每週時數ハ特ニ時期ヲ指定シテ教授スルコトアルヘシ
 第五條 各學科ノ修業年限ハ三箇年トス
 第二章 學年學期及休業
 第六條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
 第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第八條 休業日ハ左ノ如シ

日曜日

祝日祭日

春季休業 四月一日ヨリ同月十日ニ至ル

夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

冬季休業 十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

九州帝國大學記念日 三月一日

第三章 定員、入學、在學及學費

第九條 生徒ノ定員ハ各學科給費生各々若干人私費生各々若干人トス

第十條 入學ヲ許スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有スル者ニシテ出身學校長ノ薦舉ニ依リ
管理者ニ於テ品行方正身體健全ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者ニ就キ試

驗ノ上選拔ス但シ第二號中出身學校ヲ有セサル者ハ薦舉ヲ要セス

一、師範學校官公立中學校ノ卒業者

二、專門學校入學者檢定規定ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者又ハ專門學校入學

者檢定規定第十一條第二項ニ該當スル者並小學校本科正教員免許狀所有者

第十一條 入學志願者ハ左ノ書類ヲ出身學校長ヲ經由(出身學校ヲ有セザル者ハ此ノ限リニアラス)差出スヘ

シ
一、出身學校長ノ薦舉書 (書式第一號)

一、入學願書 (書式第二號)

一、履歷書 (書式第三號)

履歷書ニハ寫眞(手札形半身脱帽提出前三箇月以内ニ單身撮影シタルモノ

ヲ寫紙ニ貼付シ裏面ニ志望學科氏名ヲ記入)ヲ添付スヘシ

一、戶籍謄本

一、所屬長官ノ承認書

現ニ官職ニ在ル者又ハ服務義務年限中ノ者並ニ現ニ在學セル學校卒業後

服務ヲ生スル者ニ限リ之ヲ要ス
第十二條 入學試験ハ左ノ科目ニ就キ之ヲ行フ

- 國語及漢文
- 英語
- 數學(算術、代數、幾何、三角)
- 物理及化學
- 國語及漢文
- 英語
- 物理化學科
 - 數學(算術、代數、幾何)
 - 物理及化學

第十三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ誓約書書式第四號ヲ差出スヘシ
管理者ニ於テ前項ノ保證人ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムルコトアルヘシ
第十四條 保證人死亡シタルトキ又ハ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ遲滯ナク他人ヲ

以テ之ニ換ヘ保證人連署ノ上届出ヘシ

第十五條 生徒族籍又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ戶籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨届出ヘシ

第十六條 生徒病氣又ハ己ムテ得サル事故アリテ遲刻シタルトキ若クハ早退セントスルトキハ其事由ヲ詳記シ速ニ届出ヘシ引續キ一週間以上缺席セントスルトキハ日數ヲ定メ疾病ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ豫メ届出ヘシ

第十七條 學資ハ生徒ノ希望ニ基キ學力及履歷ヲ考查シ相當ト認メタル者ニ對シ年額金參百圓ヲ支給ス

學資支給ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 退學

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一、屢々遲刻早退缺席シ出席不規律ナルトキ
- 二、成業ノ見込ナシト認メタルトキ
- 三、各學年ニ於テ成績不良ノ爲進級シ能ハサルトキ

第十九條 疾病又ハ己ムテ得サル事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ疾病ニ係

ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ事故ニ係ルモノハ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上願出ヘシ

第五章 懲戒

第二十條 本所ノ規則命令又ハ示達ニ悖戾シ若クハ風紀ヲ紊ス等ノ行爲アリタルトキハ其ノ狀情ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス

- 一、謹慎
- 二、停學
- 三、放校

第六章 卒業

第二十一條 生徒ハ第一學年ヨリ順次第三學年ニ至ル課程ヲ履修スヘシ各學年ノ及落ハ該學年間ニ於ケル平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ決定ス但シ管理者ノ見込ニ依リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第二十二條 前條卒業者ニ對シテハ卒業證書ヲ授與ス

第七章 服務義務

第二十三條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ従事スル義務ヲ有ス

學資ノ支給ヲ受ケタル者修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

學資ノ支給ヲ受ケサル者修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間

右ノ内最初ノ一箇年ハ文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務在ルモノトス

第二十四條 前條ノ外服務ニ關シテハ大正十年四月文部省令第二十九號高等師範學校卒業者服務規則ニ依ル

第八章 學資及授業費償還

第二十五條 中途退學ヲ命セラレタル者及己ムヲ得サル事由ニ依リ退學スル者又ハ卒業後所定ノ義務ヲ盡ササル者服務年限中懲戒處分ニ依リ免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ但シ狀情ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第二十六條 前條ニ依リ償還セシムヘキ授業費ハ月額金五圓トシテ計算ス

(書式第一號)

薦 舉 書

右者貴所入學志願ノ處教員タルニ適良ノ者ト被認候ニ付別紙學業成績並人物考
定書相添へ此段薦舉候也

年 月 日

何々學校長 氏

名 印

第八臨時教員養成所管理者

九州帝國大學總長 何々 某 殿

各學年成績調查書

何

某

第一學年	學年修身國語	各學年全級各學年ノ通約人員ノ席次	人物考定

右證明候也

年 月 日

何々學校長 氏

名 印

(注意) 人物考定ハ品行性質志操舉動長所及短所等ヲ記載スルコト
(書式第二號)

入學願書(用紙美濃紙)

志望 何科

給費 希望(私費ニテモ可ナリ、又希望セス)

私儀第八臨時教員養成所生徒トシテ入學致度ニ付書類相添へ此段願出候也

年 月 日

現住所

何

某 印

第八臨時教員養成所管理者
九州帝國大學總長 何 某 殿

(書式第三號)

履 歷 書

原 籍 族 稱 (寄留者ハ寄留籍
ヲ併記スヘシ)

戶 主 何某何男或ハ弟等

現住所

生 所

(假名ヲ付スヘシ)

何 某

生年月日

一、卒業證書免許狀試驗檢定合格證書

何年何月何日官道廳府縣郡市町村(私立)何學校ニテ何學科卒業證書ヲ受ク等

(證書寫ヲ添フヘシ)

一、學 業

何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何所何某ニ就キ何學科ヲ修業ス等

一、職 業

何年何月何日道廳府縣何々小學校訓導拜命何年何月何日依願免官或ハ現今在

勤等

一、賞 罰

賞ハ特ニ著シキ者ニ限り書スヘシ

一、兵役關係

右之通相違無之候也

年 月 日

右 何 某

(書式第四號)

參錢收入
印紙貼用

誓 約 書

私儀今般御所生徒トシテ人學御許可相成候ニ付テハ在學中御所規則ヲ遵守スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ高等師範學校等卒業者服務規則ヲ服用可致候也

本籍

住所

年 月 日

(假名ヲ付スヘシ)

何

某

生年月日

前書之通相違無之仍テ本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ拙者共一切引受可申候也

本籍

住所

職業及本人トノ關係

年 月 日

保證人 何

某

第八臨時教員養成所管理者

九州帝國大學總長 何 某殿

追テ保證人向後轉任改印等ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ速ニ御届可申候也

○第八臨時教員養成所生徒學費支給規程

第一條 第八臨時教員養成所規則第十七條ニ規定スル學費ハ本規程ニ依リ之ヲ支給ス

第二條 學費ハ入學ノ月ヨリ退學又ハ卒業ノ月迄月額金額貳拾五圓ヲ支給ス但シ懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者ニハ當月分ヲ支給セス

第三條 學費ハ當月分ヲ翌月十日迄ニ支給ス但シ卒業當月ニ限り卒業ノ日迄ニ支給ス

第四條 停學期間中ハ學費ノ支給ヲ停止シ其停止ノ月ハ日割ヲ以テ支給ス

○生徒姓名

(昭和三年五月末日調)

數學科

今村 四郎 福岡 今田 謙次郎 福岡 ○岩橋 義雄 和歌山
 池元 治 福岡 橋本 惠 大分 ○原田 敏武 大分 ○犬丸 太郎 福岡
 大藏 刀三 大分 ○大成 弘廣 島 ○濟陽 良雄 宮崎 ○家守 秀夫 福岡
 ○甘田 秀穂 熊本 ○田中 又雄 熊本 ○武基 文雄 福岡 ○竹山 茂一 鹿兒島
 堤 作一 福岡 ○内田 正福 岡 ○松崎 衛 福岡 ○福原 一 福岡
 古賀 猷生 福岡 江上 茂 福岡 ○安東 本治 大分 ○福原 一 福岡
 庄野 榮八郎 福岡 森下 傳 福岡 ○三上 四士雄 福岡
 備考 ○印ハ給費生

○卒業生姓名

大正十四年三月卒業

數學科

萩原 安貞 鹿兒島 服部 三友 東京 帆足 宜男 福岡 大野 敬三 福岡
 小野 芳夫 大分 脇山 力雄 佐賀 加藤 清實 大分 吉富 正志 福岡
 田中 秀一 福岡 安本 良一 大分 辻田 芳美 福岡 中島 時壽 福岡

物理化學科

中村 浩 福岡 中村 國吉 福岡 兒玉 治人 島根 後藤 善一 愛知
 江崎 正雄 福岡 安部 文雄 福岡 行武 榮 佐賀 白川 宗夫 長崎
 庄野 周平 福岡 住田 温三郎 愛媛

昭和二年三月卒業

數學科

岩熊 虎夫 福岡 堀内 加茂太 岡山 東野 蜂籠 福岡 小野 保 大分
 小園 齊長 崎 大迫 靜二 鹿兒島 岡留 豊二 宮崎 渡邊 良雄 福岡
 川波 幸太郎 福岡 河内 清二 山口 高橋 永八 島根 高良 鶴一 長崎
 祖 慶 剛 沖繩 野見山 正一 福岡 丸山 政利 熊本 眞子 賢一 福岡
 眞玉 橋長 好 沖繩 五島 孝吉 熊本 江副 良之 佐賀 江上 常雄 熊本
 江口 英太 佐賀 佐藤 隆二 新潟 木村 利雄 福岡 柴藤 佐俊 福岡
 百武 清助 佐賀 森田 毅 佐賀

○第八臨時教員養成所規程 ○生徒姓名 ○卒業生姓名

伊藤 嘉之 福岡 井上 智寛 福岡 井手 利郎 佐賀 石原 操 島根
 砥上 高吉 福岡 大智 三郎 福岡 和田 義雄 福岡 横井 一 長崎
 多田 豊 福岡 田中 親 福岡 瀧口 金吾 福岡 竜口 英夫 福岡
 田代 善次郎 福岡 中原 勇 佐賀 仲谷 正巳 福岡 中山 繁 福岡
 中島 逸見 大分 永野 輝一 岡山 内川 道朝 福岡 柳田 富英 福岡

大和 久福岡 松平 五郎 大分
 三上 三樹雄 福岡 三隅 二百 福岡
 有田 重秀 福岡 森田 虎雄 福岡
 前田 健吾 熊本
 白石 茂太 福岡
 江崎 清吾 福岡
 淺川 亨 福岡

昭和三年三月卒業

數學科

中村 正記 福岡

第八臨時教員養成所生徒卒業生表

學科別	卒業年次			
	大正十四年	昭和二年	昭和三年	計
數學科	二二	三一	一	五四
物理化學科	二六	一	一	二六
計	四八	三一	一	八〇

第八臨時教員養成所生徒府縣別調

(昭和三年五月末日調)

府縣別	第八臨時教員養成所生徒人學志願者及入學者人學前教育別						
	和歌山	廣島	福岡	大分	熊本	鹿兒島	宮崎
數學科	一	一	一六	四	二	一	二六
計	一	一	一六	四	二	一	二六

學科別	最長	小	平均	數
				學科
	三四・九			
		一八・三		
			二〇・四	

生徒年齡別表

計	其他		中學校		師範學校		種別	數	計
	人	入學志願者	人	入學志願者	人	入學志願者			
二八	二四五	一	七	二五	二二六	二	一二		二二
二八	二四五	一	七	二五	二二六	二	一二		二二

(昭和三年五月末日調)

第八臨時教員養成所一覽終

昭和三年十月一日印刷
昭和三年十月五日發行

定價金 壹圓五拾錢

九州帝國大學

九州帝國大學內

印刷者 田中 信吾

印刷所 九州帝國大學印刷所

東京、大阪、京都、名古屋、橫濱、福岡、仙臺
賣捌所 丸善株式會社

281
別冊
12

昭和十一年
一月一日

實業社
東京
大塚
有馬

明治
大塚
有馬

明治
大塚
有馬

武蔵帝國大學

武蔵帝國大學

